

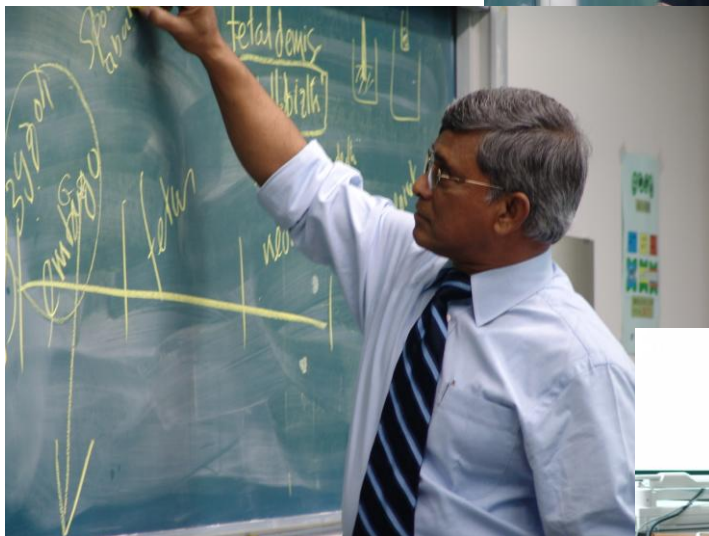
# EMP 報告書

2006 年度後期

澤口朗助教授（宮崎大学）



Dr. Feizal Waffarn (UCI)



医学科 4・5 年生 EMP (2007 年 2 月 19 日～23 日)



Dr. Vichai Laosombat (PSU)

宮崎大学医学部社会医学講座英語分野

玉田吉行・横山彰三・Michael GUEST・Richard WHITE・南部みゆき（非常勤）

I	概要
II	活動報告
III	総括—成果と今後の展望
IV	実施報告
1	医学科 5 年生 EMP
2	医学科 4 年生 EMP
3	看護学科 4 年生 ENP
4	附属病院看護部 ENP
V	編集後記
VI	附録

## I 概要

医学部では、2005 年度に引き続き、EMP（「英語が使える医療人の育成プログラム」）に取り組んでいますが、これは 2006 年度後期の EMP 報告書です。

EMP とは、English for Medical Purposes の略語で、医療のための英語です。元々、目的を明確にして学習効果を高めるために考えられた ESP (English for Specific Purposes) 教授法由来の言葉です。

「学部間提携校（現在は大学間提携校）のタイ国プリンス・オブ・ソングクラ大学 (Prince of Songkla University – PSU) での単位認定を伴う医学科 6 年生のクリニカル・クラークシップの準備のために」始められた取り組みですが、2006 年度からは、病院も含めた医学部全体で EMP プログラムに取り組んでいます。

医学科 5 年生は、「PSU だけではなく、現在交渉中の米国カリフォルニア大学アーバイン校 (University of California, Irvine –UCI)、英国バーミンガム (University of Birmingham) 大学など、海外での臨床実習に参加する時の準備のために」、

医学科 4 年生は、「2 年後の海外での臨床研修を想定し、1・2 年次でやったことの復習と、2 年間でやれることは何かを模索出来るように」、

看護学科 3 年生は、「企画中の開発途上国からの学生受け入れ（2007 年度、中東からの現役看護師 5 名の受け入れが予定されています）に向けて、卒業後国際医療などをを目指す人たちのために、看護師として英語を話す患者とのコミュニケーション能力を身につけることを想定し、1・2 年次でやったことの復習と、2 年間でやれることは何かを模索出来るように」、

病院看護部は、「日頃の業務で実際に英語を話す患者さんとのコミュニケーションをはかるために」、という具体的な目標を設定して EMP, ENP (English for Nursing Purposes) を実施しました。

2006 年度からは、医学科 4・5 年生の EMP、看護学科 3・4 年生の ENP は正規のカリキュラムの中の選択科目に組み入れられています。

前期は、①医学科 5 年生の EMP、②医学科 4 年生の EMP、③看護学科 3 年生の ENP、④大学病院看護部の ENP と、⑤その他の活動を実施しました。

後期は、①医学科 5 年生の EMP、②医学科 4 年生の EMP、③看護学科 4 年生の ENP、④大学病院看護部の ENP を実施しました。

今回はその後期分の報告書です。

社会医学講座英語分野の教員 4 名（玉田吉行、横山彰三、Michael GUEST、Richard WHITE）が中心に担当し、看護学科 ENP、看護部 ENP では南部みゆき（非常勤）さん、医学科 5 年生の EMP では解剖学講座の澤口朗助教授に応援を依頼しました。医学科 4・5 年生の EMP では、PSU から Dr. Vichai Laosombat を、UCI からは昨年に引き続き Dr. Feizal Waffarn をお迎えしました。

## II 活動報告

### 1 医学科 5 年生 EMP

5 年生 は、特別医学講義の時間帯の中（2 月 15 日～23 日）で、Dr. Vichai Laosombat (PSU) と Dr. Feizal Waffarn (UCI) のセッションと WHITE によるプレビュー・レビューを 7 回実施しました。

参加者は 4 月のソクラ大の実習に参加する 6 名（大垣実加、大森雅子、越智清純、島元万吏、山崎大、山下麻里絵）でした。



### 2 医学科 4 年生 EMP 4



4 年生 は、10 月に 7 回と、2 月に 8 回を実施しました。10 月は時間割の空いた時間に学生の希望を優先して時間割を組み、解剖学（澤口助教授）のセッション及びそのプレビュー・レビュー（GUEST と WHITE）、『ER 緊急救命室』を題材にした玉田、横山によるセッションを行ないました。2 月は 5 年生と併行して Dr. Vichai Laosombat と Dr. Feizal Waffarn のセッションと GUEST によるプレビュー・レビューを行ないました。再試験を受ける学生も居て、参加者は 5 名～8 名でした。

### 3 看護学科 4 年生 ENP

通常の時間割内で、9 回の授業を実施しました。

英語分野 4 人と非常勤講師の南部さんによるセッションと招聘した安浪氏による e-learning の講習会を行いました。参加者は 6 名（河野文子、佐藤よし美、長崎愛、榊野健吾、溝口由香梨、米井歩）でした。



### 4 附属病院看護部 ENP



金曜日の 5:00 から、12 名（1 グループ 6 名）を対象に、10 回の授業を行ないました。

A グループは、横山、ホワイト、南部さんが、B グループは、玉田、ゲスト、南部さんが担当しました。

参加者は 12 名（A グループ：岩切ひとみ、浦邊穂波、小出あずさ、後藤光代、下西美羽、松山裕佳、B グループ：中村晶、瀧砂馨、福留麻希、堀内真由美、松下和美、宮原朋子）でした。

## III 総括—成果と今後の展望

最大の成果は、昨年に引き続いて EMP を実施できたことと、学部全体の取り組みとして広がりを見せ始めたことです。色々やりましたが、新たな取り組みも含めて次のような活動を行ないました。

1. 看護学科と病院看護部の ENP (English for Nursing Purposes) を開始しました。
2. 医学科 EMP と看護学科 ENP を正式な選択科目に入れました。
3. 6 月に、ソクラ大での実習に参加した医学科 6 年生による報告会を実施しました。

4. 玉田と横山、池ノ上教授がソククラ大を訪問しました。池ノ上教授はレジデント派遣の交渉を行ないました。(2007 年度、派遣予定)
5. 横山が招いた日本学術振興会外国人招へい研究者 SKELTON 教授による医学科 4 年 EMP, 看護学科 3 年 ENP のセッションを実施しました。
6. 医学科 4 年生の希望者を中心に、TOEFL の ITP テストを実施しました。
7. ソククラ大 3 名の臨床実習ので 4・5 年生 EMP のメンバーが実習に付き添い参加しました。
8. アーバイン校の Dr. Feizal Waffarn, Dr. Edward J. Quilligan を招いての産婦人科のセミナーに、医学科 4・5 年生 EMP のメンバーが参加しました
9. 昨年度に引き続き、教育戦略経費 (130 万円) が交付され、e-learning 講習に熊本大から、EMP にソククラ大とアーバイン校から講師を招聘しました。
10. 産婦人科の鮫島助教授と解剖学講座の澤口助教授の協力を得て、MD (Medical Doctor) による医学科 EMP のセッションが出来ました。
11. 4 名だったソククラ大への派遣人数を 6 名に増やし、参加者を決めました。

ソククラ大での実習のための準備と、アーバイン校への派遣に向けて始められた EMP ですが、早くも 2 年目で、学部全体の取り組みとしての展望が開けてきたのも大きな成果です。

医学科では、タイでの政情不安やテロリストによる爆破事件もありソククラ大での実習の実施が危ぶまれましたが、9 名の応募があり、抽選で 6 名の派遣を決めました。ソククラ大では、41 名の応募があり、2007 年度の本学での実習に 8 名が参加予定です。滞在費の負担 (一日 5000 円) や宿舍の確保 (教職員宿舍 2 部屋)、学生同士の交流などが魅力のようです。昨年度のレジデント医師受け入れに引き続いて、今年度は初めて研修医を派遣する予定で、ますますの交流が期待できると思います。

今回招待した Dr. Vichai Laosombat は、二十年前に研究者として訪れた住吉学長等を受け入れた学術交流の草分けで、応用生理学の丸山教授が学生を連れて実習に行った時もお世話して下さったそうです。ソククラ大との交流はまさに二十年の歴史が生んだ成果でもあるわけです。

看護学科では、医学科のソククラ大での実習のような具体的な目標がありませんでしたが、2007 年度は JICA から派遣される現役看護師の受け入れという目標が出来ました。中東から英語の使える看護師 5 名を看護学科 (永瀬つや子講師が担当) が受け入れるもので、3 年間の派遣が予定されています。

(場合によっては延長も可能とのこと) 今年度 ENP に参加した 3 名は、卒業後附属病院に就職する予定で、病院の看護部との連携もし易くなりそうです。

病院の看護部では、特に産婦人科、小児科、手術部には日本語が話せないが英語なら話せる患者も少なからずあり、その対応は緊急の課題でもあります。実践の場で使いながら ENP を継続して補っていければ、病院の質の向上にも繋がります。JICA の受け入れでも、産婦人科、小児科との連携は不可欠で、ENP が繋ぎ役になればと考えています。

現在進行中の大学院の「臨床研究と展開医療を融合する教育拠点一発見から臨床展開まで実体験できる研究者育成プログラム」や、現在検討中のポスト COE プログラムとの連携が出来れば、更に学部全体としての取り組みは広がりを見せると思います。

継続させるためには、EMP, ENP の授業を担当する担当者の確保が最重要課題です。学内的な予算措置も心強い味方ですが、英語が使える MD の協力も必要です。実績を元にして外部資金を獲得し、英語が使えるスタッフが常について学生がいつでも利用できる EMP サポートオフィス (仮称)などを設ける必要もありそうです。

第 1 回ソククラ大報告会 (2006 年 6 月 6 日) →





## IV 実施報告

### 1 医学科 5 年生 EMP

- ① 参加者による授業報告と感想
- ② 資料
- ③ アンケート結果



#### ① 参加者による授業報告と感想

招聘講師を迎えて、White のプレビュー・レビューも含め、5 年生の特別医学講義の期間内（2 月 15 日～23 日）に、7 回の授業を実施しました。4 年生もいっしょでした。

参加者：6 名（大垣実加、大森雅子、越智清純、島元万吏、山崎大、山下麻里絵）

#### 2 月 15 日 Preview (White)

Hajime Yamazaki

Mr. White gave us preview for Dr. Vichai & Dr. Waffarn's classes. We watched DVD for Dr. Warffarn's class. In the DVD, an American medical student took a history of a patient and performs physical examinations. When we couldn't understand what they talk about, we stopped the DVD and asked to Mr. White. He answered it in details, so we have pretty good understanding of the DVD now. In addition, we briefly went over Dr. Vichai's handouts with Mr. White. Therefore, we now have confidence to take Dr. Vichai's class as well as Dr. Warffarn's class. Thank you very much for giving me this preview class.

ホワイト先生が Vichai 先生と Waffarn 先生のクラスのプレビューをしてくれました。私達は Waffarn 先生のクラスで使われる予定の DVD を見ました。その DVD ではアメリカの医学生が患者の問診と身体所見をとっていました。そしてその DVD の中で私達が理解できないところがあると、ホワイト先生は

その DVD を止めて細かく説明してくれました。そのおかげでその DVD の内容をきちんと理解することができました。さらに Vichai 先生が事前に下さったプリントに目を通し、わからないところを質問したりしました。このプレビューのおかげで、自信を持って Vichai 先生と Waffarn 先生のクラスを受講できます。どうもありがとうございました。

## 2 月 19 日 (Dr. Vichai)

Masako Omori

We discussed and learned about Dengue fever. Dr. Vichai gave us the case study and two articles of Dengue fever before the class.

So, we could preview this case before. This case is that A 7years old Thai girl with fever for 4 days. She has the specific symptoms that is petechial hemmorrhage, hepatomegaly, and no lymphadenopathy.

Dr.Vichai taught us how to diagnose this case. First, he introduced her history, physical exam, and CBC. Second, he explained us the medical terms and the normal range of medical tests which we did not know.

Then he let us pick up the problem lists of her. Lastly, he explained us why symptoms of her occurred , her pathology and biological chemistlcal.

## 2 月 20 日 (Dr. Vichai)

Kiyosumi Ochi

Report on The 20th of February 2007 3 rd Lecture (9:00~10:20) (by Dr.Vichai)

In this lecture, Dr.Vichai taught us about the thalassaemias. We received the medical records in advance, which contained useful information. The patient was a 2 year-old Thai girl with fever and pallor. She also had anemia and hepatosplenomegaly, but she didn't have bleeding diathesis nor lymphadenopathy. At first she was misdiagnosed as having acute leukemia and transferred to the University Hospital. She was finally diagnosed as having thalassaemias. The Thalassaemias, the commonest monogenic diseases, are a family of inherited disorders of hemoglobin synthesis. We learned about its epidemiology, characteristic symptoms, histology and pathology, and we studied the mechanisms of abnormal hemoglobin formation on a genetic level.

Thalassaemia is a very rare disease, and we hardly encounter it in daily examinations in Japan. It is more common in Thailand. This was my first chance to study thalassaemias. Dr.Vichai carefully showed us figures and graphics related to thalassemias. We learned about the thalassaemias in detail. It was a very impressive lecture for us.

## 2 月 20 日 (Dr. Vichai)

Mari Shimamoto

This class was about Case Study-3. The Case is APDE (Acquired Platelet Dysfunction with Eosinophilia). Dr. Vichai explained APDE with the Power Poit slides. A 5 year-old Thai boy presented with bruising at both lower extremities for 2 weeks. Almost of all the test examinations are within normal. APDE is common disease in Thailand and 168 children with APDE were studied. The most common symptom is Ecchymosis (petichical hemorrhage like) on the extremities and eosinophilia, prolonged bleeding time was detected in these children. The cause of accchymosis is the platelet aggregation. Some parasitic infections may relative to APDE, because 56% children was detected parasitic infection and about 83% of these children had serum total IgE higher than 100 IU/ml. But we don't know the exact mechanism of APDE and why APDE is very common only in Child so far.

## 2 月 21 日 (Dr. Waffarn)

Mika Ohgaki

We were given a DVD before this EMP session by Dr. Waffarn. This DVD shows the interview and physical examination between the patient and the medical student who are Americans. We discussed this interview in this class; what are cultural or behavioral differences between Japan and America, and what is an appropriate performance etc. When we want to get more information from the patient, it is useful to ask by open-ended question. And make a relaxed atmosphere and addressing his or her feelings are needed. For example, introducing myself politely, do not interrupt the patient talking, non-verbal communication, and establishing the personal rapport are important. After taking a relevant history, we

have to be able to perform a physical examination systematically with an appearance professionally competent, and not to forget to explain, in advance, what s/he would be doing during the physical examination.

事前にこのセッションで使用する DVD を予習して、Dr. Waffarn の講義を受けました。DVD の内容はアメリカ人医学生による問診と身体診察風景です。それに基づき、日本とアメリカでの診察の仕方の違いや、ふさわしい診察の仕方などについて話し合いました。患者さんからより多くの重要な情報を得るためにはオープンクエスチョンを用いること、話しやすい雰囲気を作るために、自己紹介・言葉以外のしぐさや表情・アイコンタクトに気をつけて、話を中断せずに聞きたいことを逃さずお話を伺うことが必要です。そして問診の後は、順序良く必要な身体診察を行い、検査の前にはどういうことを行うかについて説明と了承を得るなど患者さんの気持ちに注意を払うことが大切だということを学びました。

## 2 月 21 日 (Dr. Waffarn)

Marie Yamashita

EMP class is very useful and exciting for me. In the class, I could learn many medical terms and knowledge of diseases in English. I studied dengue fever, thalassaemias, and eosinophilia and so on, in the class of Dr. Vichai.

In the class of Dr Waffarn, I learned about how to make the rapport (between the doctor and the patient) and the symptoms and disease of pregnant woman through the case report of the the patient with GBM. Then he took us to the NICU to perform the way of the score of gestational age of the baby. It is very difficult for me to understand these thing perfectly, but I enjoyed this classes because we could learn preview of this class and always ask the questions of English words.

Then I thought I have to study not only English but also Medical more and more.... Thank you very much.

## 2 月 23 日 (Dr. Waffarn)

Hajime Yamasaki

Today, Dr. Waffarn did round for us in NICU. Today's topic was gestational age. First, Dr. Doi gave us a real case history about a healthy baby and her mother. Dr. Warffarn encouraged us to ask questions when we want to know more information about the baby and her mother. We asked several questions about her mother's past medical history, family history, and medications. After we had good understanding of the baby and mother, we went seeing the baby. Dr. Waffarn told us how to assess gestational age by physical examinations with assessing the real baby's gestational age. Practice with the real baby in English was challenging, but we learned a lot. His round gave us medical knowledge and confidence to learn in English.

今日は Dr. Waffarn が NICU でラウンドをしてくださいました。今日のテーマは **gestational age** でした。最初に Dr. Doi が健康な新生児と母親のケースヒストリーを話してくださいました。Dr. Waffarn がケースヒストリーでもっと知りたいことがあればどんどん質問するように促してくれたので、私達は母親の既往歴、家族歴、服用薬について質問しました。私達がケースヒストリーを十分理解すると、実際にその新生児のところに行き、実習が始まりました。Dr. Waffarn は身体所見からどのようにして **gestational age** を決めるのかを、実際にその新生児の身体所見をとりながら教えてくださいました。実際の新生児を相手にして英語で実習を行うのはチャレンジでしたが、私達は多くのことを学ぶことができました。この実習を通して、私達は医学知識と英語で学ぶ自信を得ることができました。



## <EMP 全体の感想文>

Mika Ohgaki

This was my second time to participate in EMP. In the past 6 months, I have learned how to summarize patient histories, think about differential diagnoses, order exams, and diagnose and treat patients in English with my friends. During this session it was easier for me to understand what the teacher was saying. And because there were only 6 students participating in this session, there was a relaxed atmosphere which made it easier to speak, even with my poor English.

I will endeavor to study even more now so I can make the best use of my time in Thailand. Thank you very much to the supportive teachers and everyone involved for giving me this very useful opportunity.

EMPに参加させていただきありがとうございました。私は昨年夏から参加し、今回が2回目でした。この半年の間、患者さんの病歴、鑑別疾患、検査、診断、治療を英語で順序よく話すトレーニングを友人としてきました。その成果もあったのか、今回は前回と比べて、先生の話していることが聞き取れ、また少人数でのセッションだったので以前より発言できるようになりました。まだまだ不十分ですが、今回タイへ行かせていただけることになったので、今後も英語の勉強を続けて、向こうで多くのことを学んできたいと思っています。講義してくださった Vichai, Waffarn 先生、英語科の先生をはじめ EMP プログラムを計画し準備してくださった先生方に感謝します。



Masako Omori

EMP class is very useful and exciting for me. In the class, I could learn many medical terms and knowledge of diseases in English. I studied dengue fever, thalassaemias, and eosinophilia and so on. in the class of Dr. Vichai.

In the class of Dr. Waffarn, I learned about how to make the rapport (between the doctor and the patient) and the symptoms and disease of pregnant woman through the case report of the patient with GBM. Then he took us to the NICU to perform the way of the score of gestational age of the baby. It is very difficult for me to understand these things perfectly, but I enjoyed these classes

because we could learn preview of this class and always ask the questions of English words.

Then I thought I have to study not only English but also Medical more and more... Thank you very much.



### My impressions on EMP class

These EMP classes, we had many opportunities to talk and communicate with Dr. Vichai and Dr. Waffarn. They were very kind. Dr. Vichai gave us lectures on tropical infectious diseases and characteristic to Thailand. They were very impressive. These diseases are very rare in Japan, so we rarely see them in daily examinations. Dr. Waffarn taught us how to ask patients about their conditions. Taking a medical history is a very important basic practice for doctors and medical students. He said, one of the most effective ways to improve history taking is to use "Open-Ended Questions". We medical students are likely to overuse "Closed-Ended Questions", so we may not gather useful information from patients. From now on, I will attempt to begin with several open-ended questions and progress through interviews using a balance of open- to closed-ended questions. Secondly, he said that establishing a personal rapport with patients is a key basic human relationship. "Rapport" also includes non-verbal communication like facial expressions and body language. Establishing rapport has an important place in daily interviews with

Kiyosumi Ochi





patients. The American way of taking a patient's history is somewhat different than the Japanese, but the basics are the same, hearing about the American perspective has led me to reflect on our way of talking with patients. I really appreciate the opportunity to study in Thailand this spring. I'm sincerely grateful for all the kind help I have received.

Mari Shimamoto

It is the third time that I participate in this EMP program. I learned three case studies at Dr. Vichai's lecture. It was so useful for me, will go to Prince of Songkla University at Thailand next April as exchange medical student, because these case studies were all about very common diseases in Thailand. And I realized that to search and read papers in English are quite important. The paper about the dengue which gotten ready before lecture was a little difficult for me, but it became very helpful to understand this disease and Dr. Vichai's lecture.



The subject of Dr. Waffern's lecture was about the assessment of clinical competence of medical student in USA. We already passed the OSCE (Objective structured clinical examination) which is common examination of medical student in Japan. They are very similar. We picked up some different points and discuss. I thought it was just interesting, and found that it's very useful not only to understand the difference of cultures between USA and Japan, also to understand the important point of clinical communication skill. Because the important point of clinical communication skill was not so different. It's to think about what is better for patients.

I have a dream to work in foreign countries in the future in a group like a Medecins-sans-frontiers. It is not easy to master a foreign language for me, like English, but I have to be able to use it not only for everyday conversation as a traveler but also medical terms, because I must communicate with patients and other medical professionals in English well too.

As I start to prepare for my future plan, this program was a perfect opportunity as a experience to use English in actual situations including medical conversation. Finally, I appreciate all my teachers and all people who cooperated in this program.

Thank you so much.

この EMP プログラムに参加するのは 3 回目となる。今回、Dr. Vichai の講義では 3 つのケーススタディについて学んだ。私は、今度の 4 月にタイのプリンス・オブ・ソクラ大学に交換留学生として行くことになっており、このケーススタディは全て、タイで最もよくある疾患についてであったので、とても有意義なものとなった。そして、今回英語論文を自分で検索して読み解くことがとても重要だということを痛感した。講義より事前に用意されていた論文は私には若干難しい内容であったが、それは疾患を理解すること、また Dr. Vichai の講義を理解するのにとても役に立った。

Dr. Waffern の講義の題材は米国の医学生の臨床能力評価テストの DVD であった。私たち 5 年生はすでに OSCE という日本国内の医学生で共通の臨床能力試験に合格しており、米国のものはそれととてもよく似ていた。両国で異なる点を見つけ出して議論したが、それは単純にとっても面白く、また、米国と日本の文化の違いを理解することだけでなく患者にとって良いことは何かを考える臨床能力が大切であるということが分かった。そしてそれらはどの国でも違いはないということも。

私は将来、国境無き医師団のような団体に属して海外で医療活動をしたいと考えている。私にとって外国語である英語をマスターすることは容易ではないが、日常会話のみならず医学的な会話もできるようにならなければならない。それは、患者さんや他のスタッフとのコミュニケーションをとるのにもまた英語が不可欠だからだ。これから将来に向けてその準備をしようと思うが、このプログラムでは医学的な会話も英語で行うという体験を得ることができ、本当に素晴らしいきっかけになったと感じている。最後に、講師の方々、このプログラムを支えていただいた多くの方に感謝したいと思う。

ありがとうございました。

島元万吏

Impressions of Dr. Waffern's lecture

Hajime Yamazaki

I learned medical English as well as medicine through EMP classes.

Mr. White gave us a preview for Dr. Vichai and Dr. Waffern's class, so we could take their classes with

confidence.

In Dr. Vichai's class, we learned tropical diseases such as Dengue hemorrhagic fever and thalassemias. Since these tropical diseases are not common in Japan, I had no chance to study these in detail. Therefore, his lecture had a lot of new information. I really enjoyed his lecture. In addition, his way of teaching was very clear and encouraging, so I decided to study pediatrics under his supervision in Thailand.



Dr. Waffarn taught us how to take history and perform physical examinations. Since I had no experience to do these in English, his class was very helpful to obtain basic idea of these. I'm going to have clinical elective attachments in the U.K. and Thailand in the next 2 months. When I take history and perform physical examinations in the U.K. and Thailand, things I learned in his class will help me a lot. Additionally, we learned how to assess neonate's gestational age with assessing a real neonate. This experience gave me knowledge of perinatal medicine and confidence to learn in English.

These EMP classes were very helpful to prepare for my clinical elective attachments in the U.K. and Thailand, and I can leave Japan with full of confidence. I really appreciate to the people who prepared for EMP. Thank you very much.

EMPを通して、医学知識のみならず医学英語も学ぶことができました。

ホワイト先生は Dr. Vichai と Dr. Waffarn のクラスのための preview をしてくれました。そのおかげで、自信を持って Dr. Vichai と Dr. Waffarn のクラスを受講することができました。

Dr. Vichai のクラスでは、デング出血熱やサラセミアといった tropical disease を勉強しました。日本ではこういった病気はあまりないため、今までこれらの病気を詳しく学んだことはありませんでした。そのため、今回の講義は僕にとって目新しい内容ばかりで、とても勉強になりました。加えて、Dr. Vichai の教え方はとても明確かつポジティブで、4月にクリクラでタイに行くときは Dr. Vichai のところで小児科を学びたいと思いました。

Dr. Waffarn は問診と身体所見の取り方を教えてくれました。もちろん日本語で問診や身体所見をとったことはありましたが、英語ではこれらのことをしたことはなかったもので、このクラスはとても有意義でした。僕は3月にイギリス、4月はタイでクリニカル・クラークシップを行います。海外で問診や身体所見をとるときにこのクラスで学んだことがとても役立つと思います。加えて Dr. Waffarn の実習では、実際の新生児の gestational age を評価の仕方を学びました。この経験で新生児医学の知識のみならず、英語で学ぶ自信も得ることができました。

EMP はイギリスとタイで行うクリニカル・クラークシップの準備のための、素晴らしい機会となりました。EMPのおかげで十分な自信をもって日本を旅立つことができます。EMPのために御尽力して下さいましたすべての方々に心から感謝します。本当にどうもありがとうございました。

Marie Yamashita

Dr. Waffarn's lectures in EMP course were very exciting and fruitful experience for me. In his class, he showed us the checklist of the bedside exam for medical student in the US, and we watched DVD in which the medical students perform the bedside interview. I found there were some cultural differences such as the way asking about personal history like abortion or the way they chat with patients. I also could know that the principle in establishing rapport is the same as we do in Japan.



In another class, he showed us the case in which a pregnant woman has GDM and was very anxious if it affects the baby. We discussed the patients together but hardly anybody noticed what he wanted us to notice. We concentrated only on the disease though he wanted us to concentrate on the patient's feelings. I realized the importance of establishing rapport. He also taught us some backgrounds including the basic knowledge of gestational period and the cultural difference like the way of counting the date of pregnancy.

The opportunity to use English for medical purposes really

motivated me. I think that expressing opinions and receiving information is what is most needed for us to cultivate ourselves as a future medical worker, and I believe that this program will help us with that.

Therefore, I would like to study harder and deepen my medical knowledge and also keep on working to improve my English communication skills so that someday I could use English in my medical career.

## ② 資料

＜実施予定表＞（EMP 開始前に配布した資料です）

### EMP 講座 予 定 表 ＜5 年生用＞

2007. 2. 6 作成

年月日	予 定	内 容
07.2.15（木）	1 回目（9:00～10:10） GUEST / WHITE	Preview
07.2.19（月）	2 回目（9:00～10:10） Dr. Vichai	
07.2.20（火）	3 回目（9:00～10:20） Dr. Vichai  4 回目（10:40～12:00） Dr. Vichai	
07.2.21（水）	5 回目（9:00～10:20） Dr. Waffarn  6 回目（10:40～12:00） Dr. Waffarn	
07.2.23（金）	7 回目（9:00～10:10） Dr. Waffarn	

講師：Dr. Vichai Laosombat (Prince of Songkla University)

Dr. Feizal Waffarn (University of California, Irvine)

英語：玉田吉行、横山彰三、Michael GUEST, Richard WHITE

参加者：6 名（大垣実加、大森雅子、越智清純、島元万吏、山崎大、山下麻里絵）

宮崎大学医学部社会医学講座英語分野


### ③ アンケート結果 (1) EMP5 年生 H19 年 2 月期 実施後評価

今後の EMP プログラムの改善に役立てますので以下の質問に正直に答えて下さい。

1. 何年生か 5 年 (全 6 名)

2. ゲスト・ホワイト担当の follow-up セッションについて

1) このセッションはあなたにとってどれくらい有益でしたか。5 段階で評価して下さい。



5 とても有益であった	3 人
4	1 人
3	1 人
2	0 人
1	0 人
0 有益でない	0 人

(無回答 1 名)

2) このセッションで最も有益だった点を思いつくままに書いて下さい。

- ・質問のしやすい雰囲気であった。
- ・前もってビデオの中で分からない点を質問できた。
- ・何でも質問出来る。初顔合わせでも、リラックスして楽しみながらやっていこう！と前向きな気持ちにさせてくださいました。
- ・英語によるディスカッション、日本との違い、鑑別、診断の仕方
- ・Mr. White と今後の方針を話せた。

3) このセッションで改善すべき点を思いつくままに書いて下さい。

- ・DVD の音声が少し聞きづらく、予習がしづらかった。
- ・ホワイト先生がこのフォローアップセッションがあるのを知ったのが前日だったのでとまどっていた。
- ・事前に Mr. White に資料が提示されていれば、もう少し何らかの形に残ることは出来たかもしれない。

4) 以下の項目についてあなた自身について該当する箇所に○印を付けて下さい。

(数字は回答者の人数)

	大変満足	満足	あまり満足していない	満足していない	わからない
あなたの目標達成度	1	3	1		
セッションのインプット量		4		1	
セッションのインプットレベル	1	3	1	1	
セッションへの参加度	1	3			
資料類(映像を含む)	2	2			1
期間の長さ	2	3			
使用教室	2	3			
設備類	1	4			


「あまり満足していない」「満足していない」とした項目についてその理由を書いて下さい。

- ・まだ英語力不足であること。
- ・医学的知識が足りていない。

3. Dr. Vichai セッションについて



1) このセッションはあなたにとってどれくらい有益でしたか。5段階で評価して下さい。



5 とても有益であった	5 人
4	1 人
3	0 人
2	0 人
1	0 人
0 有益でない	0 人

2) このセッションで最も有益だった点を思いつくままに書いて下さい。

- ・4月にタイに行くので、タイの **common disease** について学べて良かった。
- ・サラセミアやデングなど、日本ではあまり見ないものについて勉強出来た。
- ・少人数で **discussion** 形式だったこと。先生がどんなことでも話して良い、質問しても良い、というふうにしてくださったこと。
- ・**tropical disease** について詳しく学べた。
- ・事前に論文が配布され、デング熱やセラセミアという日本における特殊な疾患もスムーズに理解出来た。
- ・タイに行く前に **Thai English** に慣れることが出来た点。**Thai** での **common disease** が理解出来た。

3) このセッションで改善すべき点を思いつくままに書いて下さい。

- ・特になし。先生も熱心にていねいに話してくれるので、とても良く分かった。スライドも多く、ビジュアル的にも分かりやすかった。

4) 以下の項目についてあなた自身について該当する箇所に○印を付けて下さい。

(数字は回答者の人数)


	大変満足	満足	あまり満足していない	満足していない	わからない
あなたの目標達成度	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>1</b>		
セッションのインプット量	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>1</b>		
セッションのインプットレベル	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>		
セッションへの参加度	<b>3</b>	<b>3</b>			
資料類(映像を含む)	<b>3</b>	<b>3</b>			
期間の長さ	<b>3</b>	<b>3</b>			
使用教室	<b>3</b>	<b>3</b>			
設備類	<b>4</b>	<b>2</b>			

「あまり満足していない」「満足していない」とした項目についてその理由を書いて下さい。

- ・まだ英語の表現が出来ていない。
- ・医学的知識の増強を図りたいから。

#### 4. Dr. Waffarn セッションについて

1) このセッションはあなたにとってどれくらい有益でしたか。5段階で評価して下さい。



5 とても有益であった	5 人
4	0 人
3	0 人
2	1 人
1	0 人
0 有益でない	0 人

2) このセッションで最も有益だった点を思いつくままに書いて下さい。

- ・ 前回よりも発言出来た！
- ・ 日本と米国における医療面接の似てる点や異なる点を挙げて説明されたので興味深かった。
- ・ 実習を通して baby の gestational age の漬け方が分かるようになった。
- ・ 前もって DVD を何回も聞いて参加するという形式、すごく良かったです。とても速いスピードの英語で取り組み甲斐がありました。
- ・ “rapport”の構築の仕方
- ・ アメリカと日本の違いを見て、その問題点を考えたこと。
- ・ アメリカと日本の cultural difference が理解できた。Gestational age について英語で理解できた。

3) このセッションで改善すべき点を思いつくままに書いて下さい。

- ・ 事前に配られたビデオの映像の映りがわるく、声も聞き取りにくかった。

4) 以下の項目についてあなた自身について該当する箇所に○印を付けて下さい。

(数字は回答者の人数)

	大変満足	満足	あまり満足していない	満足していない	わからない
あなたの目標達成度	3		2		
セッションのインプット量	2	1	2		
セッションのインプットレベル	2	1	2		
セッションへの参加度	2	1	1	1	
資料類(映像を含む)	2	1	2		
期間の長さ	3	1	1		
使用教室	3	1	1		
設備類	3	1	1		

(無回答 1名)

「あまり満足していない」「満足していない」とした項目についてその理由を書いて下さい。

- ・ もう少し事前に授業で行うことを知らせてもらえれば、より分かりやすかったと思う。
- ・ きちんと表現できなかったこと。
- ・ 妊娠に関する知識が足りなさすぎたこと。

5. 全体的な観点から

1) このプログラム全体を通して 5 段階で評価して下さい。

↑ ↓	5 とても有益であった	4 人
	4	1 人
	3	0 人
	2	0 人
	1	0 人
	0 有益でない	0 人

(無回答 1名)

2) プログラム全体を通して最も良かった部分（とその理由）は何でしたか。

- ・ Dr. Vicahi と懇親会を通していろいろタイのことについて話せたこと。
- ・ tropical disease について英語で学べたことと、実習を通して gestational age の付け方が分かったこと。
- ・ 前回と比べて思ったのが、6 人くらいの少人数だとすごく話しやすいし、先生にも質問しやすく、初心者には有り難かったです。

- ・先生が直接セッションに参加し、私たちに積極性を求めてくれたこと。

3) プログラム全体を通して改善すべき部分（とその理由）があれば書いて下さい。

- ・もっとメンバーのみんなが積極的になると楽しいと思う。

4) プログラムの実施期間（時間）についてどう思いますか。

<実施期間>

長い	0 人
ちょうど良い	4 人
短い	1 人

(無回答 1 名)

<1 回の実施時間>

長い	0 人
ちょうど良い	4 人
短い	1 人

(無回答 1 名)

5) このプログラムは年何回実施するのが適当だと思いますか。

1 回	0 人
2 回	3 人
3 回	3 人

6) このプログラムで得られた成果は何ですか。

- ・英語で質問したりすることにより抵抗がなくなったこと。
- ・積極性
- ・前回のときから今回までの間に、英語の勉強をしてきた成果を確認することが出来た。
- ・英語で医学を論じることが出来るようになった。
- ・ **Motivation** が上げられること。具体的な目標が出来ることです。

7) 自分にもっとも欠けているものは何でしたか。

- ・ **medical term**
- ・英語力、医学的知識
- ・自信
- ・医学知識
- ・ **listening** と **speaking skill**
- ・積極性

8) あなた自身が英語力を伸ばすために、今後半年間での目標設定があれば書いてください。

- ・疾患名などを日本語で覚える時に、英語も同時に覚えるべきだったと反省している。英語論文をたくさん読む。
- ・『臨床医のための英語』という本で、せめてその内容だけはマスターしたい。
- ・ **Hearing, speaking**。TOEFL を受ける。
- ・英語で医学の **discussion** がもっと出来るようになる。
- ・積極的に会話していきたいです。

9) その他気づいたことがあれば何でも結構ですので書いて下さい。

- ・ Dr. Waffarn との **lecture** 以前に、児玉先生と Mike, Rick で相談していただき、とても助かり

ました。Dr. Waffarn も Lecture 中に Rick を頼りにしていて、あらためて Native teacher の存在のありがたさに気づきました。Coordinate してくださった玉田先生、横山先生もありがとうございました。Thai よりさらに“英語”の世界であるアメリカにも生徒が行けるようになればいいと本当に思います。学士の交換も行われるようになるのとこのことで、卒後研修の売りになると思います。

## (2) EMP2007 (2 月期) Student 'Can-do' feedback

(このアンケートは、招聘講師二人についてのアンケートで、5 年生と 4 年生と合同です)

あなた自身について評価してください。(1~5 の評価スケールで)。なお、欠席などで評価不能の場合は 0 (ゼロ) をつけること。

Respondents : 15 Students ( 6 5-year and 9 4-year)

- 0. Not relevant (評価不能) \*欠席など
- 1. Very much (全くそう思う)
- 2. Considerably (かなりそう思う)
- 3. A little (まあそう思う)
- 4. Very little (あまりそう思わない)
- 5. Not at all (全くそう思わない)

A. Dr. Waffarn session 1

**In this session, I improved my understanding of:**

	0	1	2	3	4	5
a) Medical terminology		79%	14%	7%		
b) Doctor-patient Interactions		79%	14%	7%		
c) The method of taking a history for chest pain		50%				
d) Clinical English		79%	14%		7%	
e) The method of physically examining a chest pain patient		50%	36%	14%		
f) Stylistic and cultural differences from Japan		79%	14%	7%		

(1 Non-responder)

B. Dr. waffarn session 2

**In this session, I improved my understanding of:**

	0	1	2	3	4	5
a) Medical terminology	7%	67%	13%	7%	7%	
b) Doctor-patient Interactions	7%	67%	13%	7%	7%	
c) The method of taking a history for a pregnant patient	7%	53%	20%	13%	7%	
d) Clinical English	7%	60%	20%	7%	7%	
e) The method of physically examining a pregnant patient	7%	53%	20%	13%	7%	
f) Stylistic and cultural differences from Japan	7%	40%	40%	13%		

c. Dr. Waffarn session 3

**In this session, I improved my understanding of:**

	0	1	2	3	4	5
a) Medical terminology	21%	57%	7%	14%		
b) Measuring Gestational Age	21%	64%	14%			
c) Filling in Ballard Chart	21%	64%		7%	7%	
d) Stylistic and cultural differences from Japan	21%	29%	21%	7%	21%	

(1 Non-responder)

D. Dr. Vichai session (all three sessions combined)

**In this session, I improved my understanding of:**



	0	1	2	3	4	5
a) Medical terminology	7%	57%	21%	14%		
b) Clinical English	7%	57%	14%	14%	7%	
c) How to make a diagnosis	7%	71%	14%	7%		
d) How to read medical data	7%	64%	14%	7%	7%	
e) How to analyze/interpret medical data	7%	79%	7%	7%	7%	
f) Details of dengue fever	29%	57%	7%	7%		
g) Details of thalassaemias	14%	57%	21%	7%		
h) Details of Platelet Dysfunction	7%	57%	29%	7%		

(1 Non-responder)

E. All sessions

**I improved:**

	0	1	2	3	4	5
a) My English listening skills		43%	36%	21%		
b) My skills in self expression		43%	29%	21%	7%	
c) My skills in reading medical papers, reports, and questionnaires		50%	29%	14%	7%	

(1 Non-responder)

## 2 医学科 4 年生 EMP 4

- ① 参加者（教員）による授業報告と感想
- ② 資料
- ③ アンケート結果



## ① 参加者（教員）による授業報告と感想（10月2日～10月25日の分）

10月に7回と2月に8回実施しました。すべて通常の時間帯で行ないました。10月は正規の時間割の空いた時間に担当者が入れる限り学生の希望を優先して時間割を組みました。後期は5年生と招待した講師の都合に合わせて、5年生の特別医学講義の時間帯の中で実施しました。

**参加者：**明石祐作、石松真人、江南ちあき、奥野貴之、陳曦、直海玲、原貴恵子、平田晶子、廣重美和、福田優香、宮川英子、横山愛（12名）

**10月10日 10:30～12:00（横山）**

Masato Ishimatsu

We learned how to study by E-learning on the internet. E-learning is the system by which we learn English on PCs. It shows us how to pronounce, and spell, as well as the meaning of the text. The E-learning system gives us tests at the end of each lesson, and it will be an effective way of learning English. I hope we'll learn many medical terms through it

**10月16日（2限 玉田）（4限 Guest/White）**

Takayuki Okuno

In this class, we were separated into two groups and did a preview of the next class. Next week, Dr. Sawaguchi will lecture on 'ER' which is about an esophageal varices. We read a handout and checked medical words, for example 'Epi' and 'SB tube.' Some words, which we didn't know, were picked up. I understood a difference between 'peaking up' and 'picking up.' Doctors use these words when they talk about a blood pressure. Then we talked about the story of an esophageal varices in 'ER.' I hadn't know the esophageal varices well, so the class was a good preview for me.

**10月25日（2限 Dr. Sawaguchi's session）**

Chiaki Enami

Today we had Dr. Sawaguchi's session. Dr. Sawaguchi began by introducing us U.C. Berkley where he studied his special field for 3 yeras. U.C. Berkley is very large and has a really beautiful campus. Dr. Sawaguchi also introduced U.C. Irvine. Some of the EMP members will go there the year after next.

Next we watched "ER", taking up the topic of esophageal varices. The atmosphere of the scene was very tense, but the "ER" staff kept calm and dealt with the patient quickly and precisely.

Then, we checked some medical terems from the "ER" episode and discussed medical procedures and points of diagnoses. At this time I got a lot of new medical knowledge.

At the end of the session, we talked about abilities which are required for "ER" staff: the abilities to make decisions, calmness, knowledge, skill, experience, teamwork, quickness, consideration, and so on. Many abilities are necessary to be on an "ER" staff.

Dr. Sawaguchi finished his session with a comment about the importance and fun of basic research.

**（3限 Guest/White）**

Takayuki Okuno

Dr. Sawaguchi lectured us on an esophageal varices in 'ER' this morning. So we were separated into two groups too and talked about the story. Drinking alcohol punctured the esophageal varices and caused a bleeding, and things like that. Then we formed ourselves in groups of two. We reported what doctors did in 'ER' each other. It let us understand the meanings of their actions in the movie. And we checked medical words which we didn't know again, so any words in the movie became available last.

**（2月19日～2月23日の分）**

**参加者：**石松真人、江南ちあき、奥野貴之、陳曦、直海玲、原貴恵子、平田晶子、廣重美和、福田優香（9名）

**2月19日 Preview（Guest）**

Xi Chen

In Mike's session, we previewed the content of Dr. Vichai's handouts. There were 3 cases. We read

them in turn, made sure of the meanings of some medical words, some pronunciation and especially talked about the significant symptoms and interpretations of the examinations for each case.

There were some useful expressions used for explanation that we learned today.

- ◆ It's a case where (or *in which*) . . . . .
- ◆ What do you mean by . . . . (when we understand something partially)?
- ◆ (Ex. *Tachycardia* ) is concerned with (*speed*).
- ◆ It's indicative of ( or *suggestive of*) . . . .

And one more important thing Mike taught us was to try to maintain our cool when you speak English so you will be recognized as a dependable and confident person!

## 2 月 19 日 (Dr. Vichai)

Yuuka Fukuda



We discussed a case study- the first of which was about a 7 year-old Thai girl presented with fever for 4 days. Some of the main points presented were:

1. Common causes of fever for kids are infections, such as those from parasites, bacteria, and viruses, acute otitis media, urinary tract infection(UTI), and dengue fever.
2. A positive result in a Tourniquet test indicates the existence of petechial hemorrhage, thrombocytopenia, defects of platelets, etc.
3. Looking at this girl's symptoms, which were fever, petechial hemorrhage, low platelet number, and hepatomegaly, leads us to diagnose her as having dengue fever.

4. Most dengue viral infection cases turn out to be asymptomatic( 80-90%) and only 1-2 % progress to be Grade III or IV on the WHO scale of the severity of DHF. Patients' who are in the state of Grades III or IV, are in critical condition and show circulatory failure, narrowing of pulse pressure (<20mmHg).

5. The main treatment for dengue fever is fluid therapy. Patients can recover from DF easily if given an appropriate diagnosis and early treatment.

So the most important thing in clinical practice is a doctor's ability to diagnose this disease.

## 2 月 20 日 (Dr. Vichai)

Masato Ishimatsu

In Case study #2, we learned mainly how to diagnose Sallacemia.

Dr. Vichi taught us about the details of this common disease in Thailand through each session. He showed us some photos of blood cells taken by microscopes, and how to distinguish the differences between different types of blood cells, and whether they were normal or abnormal. t first, it was very hard to distinguish the abnormal cells from the normal ones, but as he told us how to do it step by step, and we could eventually gain the knowledge about where and what we should check when we diagnose by means of microscopes.

One more thing I learned from this session was that we had better know the normal range of a CBC (complete blood count), at the very least. In fact, I learned that the very 1st step of diagnosis is to memorize the normal values and ranges of the test results.

## 2 月 21 日 (Dr. Vichai)

Shoko Hirata

In this class, we looked at case study #3, about a 5 year-old Thai boy who had acquired platelet dysfunction with eosinophilia (APDE). Dr.Vichai showed us what his problem was exactly firstly, the effects of various exams, and the order of them. We discussed differential diagnosis during this, for example, CBC showing an approximately normal range, such that we can exclude ITP as a cause. In addition, Dr. Vichai said that APDE has something to do with parasites, and has decreased with the improvement of sanitation.

I was impressed with his explanationas to how to connect diagnoses with physiological examinations (for example, APTT, PT, bleeding time, and the platelet aggregation test). I came to know importance of developing effective diagnoses by using these exams appropriately.

## 2月21日 (Dr. Waffarn)

Chiaki Enami

In this session, We took up a case concerning pregnancy. Dr.Waffarn made a DVD using an interview with a "pregnant" woman especially for our class!! I saw this DVD in advance, and studied the details more with Dr. Waffarn. The case involved pregnancy with diabetes mellitus.

First, we reconstructed the history without a text. Then little by little, we got the whole history of the patient. The way of diagnosing was very similar to the Japanese style. And the knowledge and understanding about pregnancy and related diseases was almost the same.

But the method of interviewing was very different. The Doctor in the DVD was very friendly and able to read his patient's condition methodically even if he was still a medical student. The day before, we learned some key points of medical interview and his way of interviewing was almost an ideal type.

I also came to understand some important terms and increase my knowledge about pregnancy, so it will be very helpful for my study of medical English in the future.

## 2月22日 (Dr. Waffarn)

Miwa Hiroshige

What Dr. Waffarn told us in the first session were the important features of a medical interview and physical exam, in this case for chest pain.

For example, first we should establish personal rapport with the patient and to talk on equal terms. But there are also some differences between USA and Japan, like shaking hands. Secondly, positive reinforcement, active listening and feed back/confirmation are important in order to get more details and cues about the patient's symptoms. Furthermore, we learned that open-ended questions are better than closed-ended questions because the latter is more coercive, therefore former is better for engaging the patient. We believe that these techniques will help us to perform better consultations.

## 2月22日 (Dr. Waffarn)

Takayuki Okuno



From 10:30, Dr. Waffarn gave us a hands-on demonstration in the NICU. What we learned today is how to check the abnormality of neonates. OB-GYN doctors usually check neonates by American 'Ballard method'. The 'Ballard method' is divided into two parts, 1) Neuromuscular and 2) Physical maturity. The Neuromuscular maturity part checks Posture, Square window, Arm recoil, Popliteal angle, Scarf sign and Heel to ear. The physical maturity part checks Lanugo, Planter surface, Breast, Eye/ear, and Genitals. We checked an actual neonate using the 'Ballard method'. Dr. Waffarn taught and advised us in detail. Then we discussed the 'Ballard method' with Dr. Ikenoue, Dr.

Kodama and other doctors included in the lecture and the discussion.

## 2月23日 (Guest)

Akira Naomi

In this session we were first given by Mr. Guest a list of useful expressions the doctors or students had used in the previous sessions and of some examples of problems we had expressing ourselves in English. We learned some common medical expressions from this list.

Also, although we sometimes had trouble explaining our thinking during the medical sessions we now know what words we should have used. For example, we should have used "diet" instead of "food" or "meal". We should have use "to rule out X" instead of "to deny X" etc. Our goal was not merely to understand the list by reading it but also to absorb these useful expressions and be able to pick them up and use them when we need them.

## <全体の感想>

Masato Ishimatsu

Through the EMP class in this spring, I've experienced so many great things.

First, since two doctors from different countries taught us , I could get used to the international English.



Now that world is small and people including doctors and patients from many countries travel all over the world, it is necessary to understand international English.

Secondly, Dr. Vichai and Dr. Waffarn let us think during each class using a discussion style. With this style of lesson there's no way but to keep thinking, and let me recognize this is what we will do in their country next spring.

And thirdly- and I think this is very important- there was the opportunity to have dinner with Dr. Vichai. Of course it was very nice to talk with him in the class, but during the dinner I could talk with him about so many things which maybe I couldn't ask in the classroom.

Anyway, these three days I've learned many new things from them and this will encourage me to study more Medicine in English, I think.



Chiaki Enami

This time, I attended many sessions with two special lecturers from abroad.

First, Dr. Vichai came and we had 3 sessions covering 3 clinical cases. The first session was about "dengue fever". I didn't know about this disease in detail, and his knowledge and clinical experience was wonderful such that I was absorbed in his lecture.

The next day, we dealt with a more complicated case, concerned with thalassemia. Making the diagnosis was very challenging, but while studying about this disease, we found out that the first diagnosis of the patient's previous hospital was not correct. The research of this disease was very complicated and difficult, but very interesting. Dr. Vichai told us about the importance of the ability to make a correct diagnosis.

The last session was about the dysfunction of platlet coagulation. This case was very similar to other two cases as for symptoms. But there were some keypoints for diagnosis including blood smears. Dr. Vichai showed how to proceed with the diagnosis correctly and the process of the expanding research.



Dr. Waffarn's sessions put emphasis on the style of medical interview. In his 2 sessions in the classroom we took up 2 cases, one of chest pain and one of pregnancy. Both sessions had two main points. The first one was the medical student's interviewing skills ( as seen on the DVD), and second one how to make a diagnosis. The most impressive thing in his session was some keywords he used in the sessions, for example, rapport and re-reinforcement. These words made clear the relationship between patient and doctor. It was very helpfull for me to understand what is important in medical interviews.

In the NICU session, I had a chance to take part in Dr. Waffarn's rounds. He is very experienced not only as a teacher, but also as a clinician. The discussion about the baby in NICU was very interesting and provided me with useful information.

Through all sessions I had many chances to make comments. Compared to Dr. Skelton's session, I could take part in the sessions more positively. At the same time, I could get more important information from them by asking questions. Both lecturers' sessions were very interesting, useful and impressive. I 'm very glad to be given a chance to participate in this program.

During the last term of EMP, I had a promotion tests and was able to go to EMP class only in NICU practices. I was looking for to take Dr. Vichai and Dr.Waffarn`s class because they both have so high ability worldwide that it was a rare chance to know it. So it was a thousand pities, and I was sorry for other teachers,too. But I drunk with Dr. Waffarn and spoke much at the party on last Friday.

This opportunity made me more interested in spending a time in California.

That was a good time. And I hope not to fail a test again. I think EMP class is a valuable opportunity to communicate in English and



Takayuki Okuno

broaden my horizon. I am going to study more in next term.

Xi Chen

This week helped me gain so much knowledge and furthered my interests in medicine. Through Dr. Vichai's sessions I learned three common diseases found in Thailand in detail. As these diseases aren't common in Japan, though we knew of them, my diagnoses of these cases were completely different. This made me actually feel the difference of common diseases between countries or areas. Ignorance of this knowledge will cause tragedies and even lead patients to death sometimes. In analyzing the results of examinations, a lot of knowledge that we learned in the second or third grades was needed but a part of them we had already forgot. As Dr. Vichai said, we really need to review what we learned before one more time. Also, Dr. Vichai gave us some literature about these diseases, so that we could understand them easier and in more detail. I seldom have a chance to read English medical theses, although I always want to read them because they will provide us with the latest and most useful information that will be significant when we take clinical practice and become doctors in the future. So this also was a good start for me.



In Dr. Waffarn's sessions, we learned how to make a good relationship with patients. In January, we just had the OSCE that was quite similar to the practice shown in DVD. So it was a good review for us and also an opportunity to compare the differences of consultations between Japan and America. It looks that in America doctors would have more conversation with patients and create a more relaxed atmosphere for patients to speak out by confirmation, positive reinforcement and active listening and so on. This is a point we should adopt. In the last class, we learned The Ballard Maturational Score through seeing the demonstration by Dr. Waffarn in the NICU. And we were lucky to see the underdeveloped testis of the baby in reality that we had only learned in textbooks so far. That really increased my interest in OBGY and made me look forward to doing clinical practice.

Finally, I appreciate all teachers of EMP in supporting and planning the sessions for us.

Akira Naomi

Through Dr. Vichai's session, we learned 3 cases. All of them were Thai children cases. We focused on Dengue fever, Thalassemia and APDE. This session was very interesting for me because these diseases are common in Thailand but not in Japan.

We learned how to do medical interview and physical examination in English in Dr. Waffarn's session. It was useful for me because we could learn from concrete examples.

I found a deep gap between English words I have known and common expressions native speakers use. This gap sometimes prevented me from understanding conversation in DVD and what doctor said in sessions. Even though I knew a certain word, I couldn't catch the real meaning because I didn't know the way he used. We should learn common expressions as well as basic medical terms.

I learned one more important thing. If we have language problem, we sometimes lose our patient's confidence or we are judged as a good-for nothing by our fellow or our boss, not because we don't have medical knowledge and skill but simply because we can't make ourselves understood in English.



Kieko HARA

First of all, I really appreciate the two doctors Dr. Vichai and Dr. Waffarn coming over to our university. It was a big week for me, and what I've learned from the sessions will be valuable for study in the future.

Dr. Vichai's session was a great opportunity to learn about thalassemia and APDE, which are very rare in Japan. I noticed some differences between Thai and Japanese situations involve with diseases and treatment, and they were one of the interesting things that caught my attention.



It was also good that I had a chance to observe some blood smear samples as pictures, which is one of my week points. I realized that my skill to analyze samples and data was fairly poor, because I've studied only through textbooks where I can hardly find any pictures. As I will start clinical practice from next year, I'd like to focus on clinical skills and the English that I really need in the hospital.

For Dr. Waffarn's sessions, I recognized that the study of "establishing rapport" between the doctor and the patient is advanced in America, but at the same time, we should realize the cultural differences between the two countries. I felt that we need more study and application.

The American type of session was also new for me. I'm not sure if that way suits Japanese students, but that kind of session make me think about the session's theme more quickly and deeply. Maybe that is one of the best ways to make a definite impression of the topic to students.

In the end, the preview and review sessions that Mr. Guest did helped me a lot. Actually, I suggested that in the questionnaire from last semester and I'm really satisfied that preview /review sessions were realized so rapidly. I'd like to thank all the teachers and staff for the efforts they made for us.



Shoko Hirata

Through this class, I had valuable occasion for my future as a doctor. Firstly, I had many times speaking English. I got nervous at first time because I thought I couldn't speak well. But all teachers made effort to ease our mind, so I could manage to speak. Besides, there are many phrases that we can use in a hospital, especially in Dr. Waffarn's class.

Secondly, I learned about an appropriate attitude of medical staffs. I came to know the word [triangle relation] which means the relationship between a doctor, a mother, and a fetus. I think it's a key to make good relationship in OB&GYN.

Finally, I gained a lot of medical information I hadn't known. Now I feel necessity to learn them more

Miwa Hiroshige

I was very sorry to miss the opportunity to take part in some sessions. However, when I could be there, I spoke as much as possible. In the session, I could learn the way of discussing medical scenes in English. Words used in the situation were different from those used in daily life. So, Dr. Waffarn told me it is important not only to learn techniques and acquire knowledge but also to have sessions in English. Dr. Waffarn gave us much praise that made me active. So, those sessions were very fertile for me. What I felt this time around is necessity of learning more technical terms in English and medical knowledge by myself. Without this lavish experience, I wouldn't have intended to study more.



Yuuka Fukuda

I enjoyed both doctors sessions very much. The topics discussed in Dr. Vichai's sessions (Dengue fever, thalassaemia, and Acquired platelet dysfunction with eosinophilia) were diseases which are not well-known in Japan and so I was stimulated with lots of new knowledge. In Dr. Waffern's sessions, I could see the difference between medical interviews in America and in Japan and see also some features which are common to both countries.

Both doctors patiently waited for our answers and gave us good explanations to lead to deeper understanding. Mike's previews and reviews helped me a lot to understand the doctors' sessions to a greater extent.



## ② 資料

(1) <実施予定表> (後期の初めに配布した資料です)

the 2nd semester EMP, 2006

**1 Focus:** We are going to start ER Comprehension Practices and M.D. Sessions

### 2 Schedule

October, November

- ① 10/2 (Mon) 12:00~ T: Class Guide (301)
- ② 10/10 (Tues) 10:30~12:00 Y: E-learning (Nursing Wing: 205 Computer Room)
- ③ 10/16 (Mon) 10:30~12:00 T: ER (301)
- ④ 10/16 (Mon) 2:50~4:20 G/W: Including Preview (301)
- ⑤ 10/25 (Wed) 1:00~2:30 Dr. Sawaguchi: Session on ER (301)
- ⑥ 10/25 (Wed) 1:00~2:30 G/W: Including Review and Questionnaire (301)

February (2/13~2/23)

- ⑦ G/W: Including Review
- ⑧ Waffern: Session (Not yet decided)
- ⑨ G/W: Including Review and Preview
- ⑩ Teerha: Session (2/19-2/21, scheduled)
- ⑪ G/W: Including Review and Questionnaire

### 3 Contents

③ T: ER

Materials Already Handed

1 Basic Information: Aneurysm

2 Discussion a. Japan/U.S. System Difference  
b. Operation Difficulty of Aneurysm by Dr. Benton

3 Listening Comprehension of ER: Q & As

4 Terminology: Pronunciation & Meaning

⑤ Dr. Sawaguchi

Materials: ERI-5 (DVD-R)

: Chien and Yu 352(8):e7, Figure 1 February 24, 2005  
(The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE)

: Handout of English Sub-Titles

「・・・食道静脈瘤破裂のエピソードをとり上げたいと思います。喉頭浮腫に対する気管内挿管、胃・食道バルーンカテーテル挿入、食道静脈瘤の原因となる肝硬変による門脈圧亢進などは解剖学的な要素を含み興味深いものがあります。」 (Dr. Sawaguchi)

ERI-5                      516 00:32:28 → 564 00:35:29

⑧⑩ To be arranged later

### 4 2006 1st EMP Report Completed



(2) <実施予定表> (後半の EMP 開始前に配布した資料です)

## EMP 講座 予 定 表 <4 年生用> 2007. 2. 6 作成

年月日	予 定	内 容
07.2.19 (月)	1 回目 (9:00~10:20) GUEST / WHITE 2 回目 (10:40~12:00) Dr. Vichai	Preview
07.2.20 (火)	3 回目 (13:30~14:50) Dr. Vichai	
07.2.21 (水)	4 回目 (9:00~10:20) Dr. Vichai  5 回目 (13:30~14:50) Dr. Waffarn	
07.2.22 (木)	6 回目 (9:00~10:20) Dr. Waffarn  7 回目 (10:40~12:00) Dr. Waffarn	
07.2.23 (金)	8 回目 GUEST / WHITE	Review

講師：Dr. Vichai Laosombat (Prince of Songkla University)

Dr. Feizal Waffarn (University of California, Irvine)

英語：玉田吉行、横山彰三、Michael GUEST, Richard WHITE

参加者：12 名 (明石祐作、石松真人、江南ちあき、奥野貴之、陳曦、直海玲、  
原貴恵子、平田晶子、廣重美和、福田優香、宮川英子、横山愛)

宮崎大学医学部社会医学講座英語分野

### ③ <アンケート結果 1 (H 18. 10 実施)>

#### EMP4 (2006 年 10 月期) 評価項目アンケート (実施 2006/10/25)

##### 1. Dr. 澤口のセッションを振り返って

##### 1) もっとも難しかった点

- ・ 医学的知識がまだ少ないので、なぜドクターがこの質問をしたのかというのを答えるのが難しかった。基本的な医学用語に欠けていた。
- ・ 治療法が分からない。英語以前に医学知識が無い。医学英語の意味が分かっても使い方がわからないとき。
- ・ 台詞中の専門用語、略語
- ・ 医学用語・省略された言葉が何を意味しているのか。
- ・ 別に無い。前回のホワイト先生の授業で、内容は把握しており、単語についても授業で習っていたので、特別難しい点は無かった。

- ・ 医学知識が問われたところ
- ・ 医学用語
- ・ technical terms
- ・ グループディスカッション
- ・ 出血のときに使う疾患をそもそも知らないこと。また、“crick”などの略語
- ・ 医学用語を用いてのディスカッション

## 2) 何が問題なのか

- ・ 勉強が足りない。医学用語の語い力が欠ける。
- ・ まだしっかりと勉強した範囲ではないので。
- ・ 自分の勉強不足
- ・ 日本語でも知らないことがあった。調べても分からなかった。
- ・ 知識不足
- ・ 医学的内容で、この test はどういうものか、などを聞かれたときは分からなかった。
- ・ 医学の知識を定着させる。
- ・ 電子辞書にもものっていない実用的な単語が多くて、まだ自分の知識が実用的じゃないのが分かりました。
- ・ 自分の勉強不足
- ・ 自分の考えを英語で表現すること。フレーズを知らなくて使えなかったりする。
- ・ そのものの医学の知識が足りない。略語は ER とか見て覚えたい。
- ・ 疾患、症状などを的確に英語に訳せなかった。

## 2. ゲスト・ホワイト・玉田・横山のセッションを振り返って

### 1) もっとも難しかった点

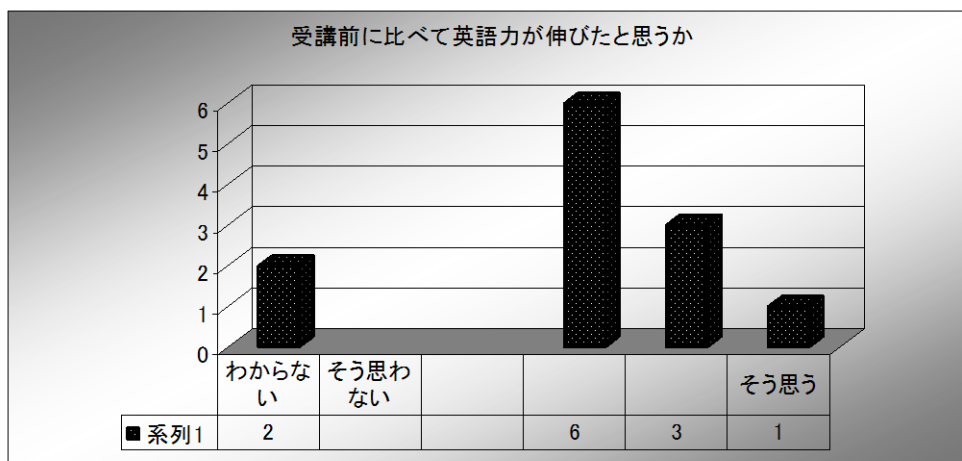
- ・ 考えや学んだことを、まとめて話すこと。
- ・ 先生の質問を聴き取り、1文章にして答えを英語で言うこと。
- ・ 内容はそう難しくなかったが、自分がどれだけ意見を述べるべきかで迷った。自分ばかりが話してしまうのではないかと思ってしまった。
- ・ Dr. 澤口のセッションを思い出すところ
- ・ 自分の意見を文章で言う点。
- ・ 先生の質問に答えること
- ・ とっさに英語でディベートすること。会話ではなくて、ある議題について話を進めていくこと。
- ・ スピード、要点のまとめ、感想や自分の考えを英語で話すことが求められるシーン。
- ・ 特になし (3名)
- ・ 無回答 (1名)

### 2) 何が問題なのか

- ・ 無回答 (5名)
- ・ 授業中も英語で考えておけば良かったと思う。
- ・ Listening skill
- ・ 記憶力
- ・ まだまだ練習が足りなかったと思いました。
- ・ これかなあ、と思っても間違っているかもしれないので、なかなか発言出来ない。
- ・ 素早く、理論的に考えるくせがないこと。英語力。
- ・ ボキャブラリー不足。会話するための決まり文句が少なすぎる。スムーズに言葉が出て来ない。

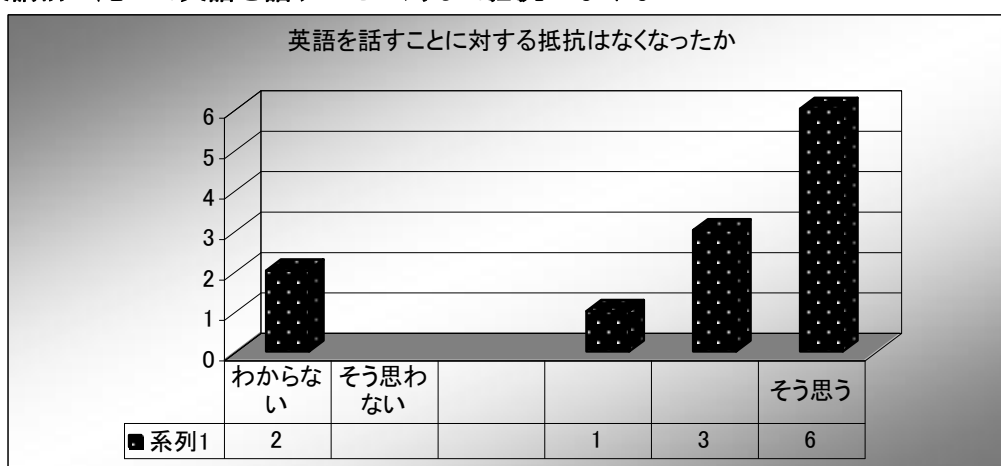
## 3. EMP 受講前・受講後の英語力について

## 1) 受講前に比べて英語力が伸びたと思うか



- それはどの程度か、または何故か（全員記述）
- 少しはのびた。タイ留学生との交流により。
- ボキャブラリーはついた。
- 1人ひとり、しゃべる機会は多くないため。
- 話すのに慣れてきた。専門用語を少し覚えたが、力がついた実感はない。
- 多方面から英語に触れられた。話す機会が増えた。
- 伸び悩んでいます。日常、英語を話す機会が少ないため？
- 考えたり、話す機会は増えたから。医学的な内容が多いので興味を持って聞ける。
- 単語で受け答えが出来るくらいは伸びました。まだ文章で自分の考えを言えるくらいはないので、もっとふつうの会話を英語で話そうを思います。
- 夏にタイからの留学生との会話を多くしたことの影響が大きく、また、それがきっかけで、英会話教室にも通い始めたので・・・。
- ERを見たり、英語でのセッションを受けることにより、リスニング力、表現力が向上したと思う。
- 英語を話す機会は増えて多少伸びたが、それよりも英語を話すことへの慣れでしゃべれていたのだと思います。
- まだ、会話に不自由さを感じるが多すぎるため。

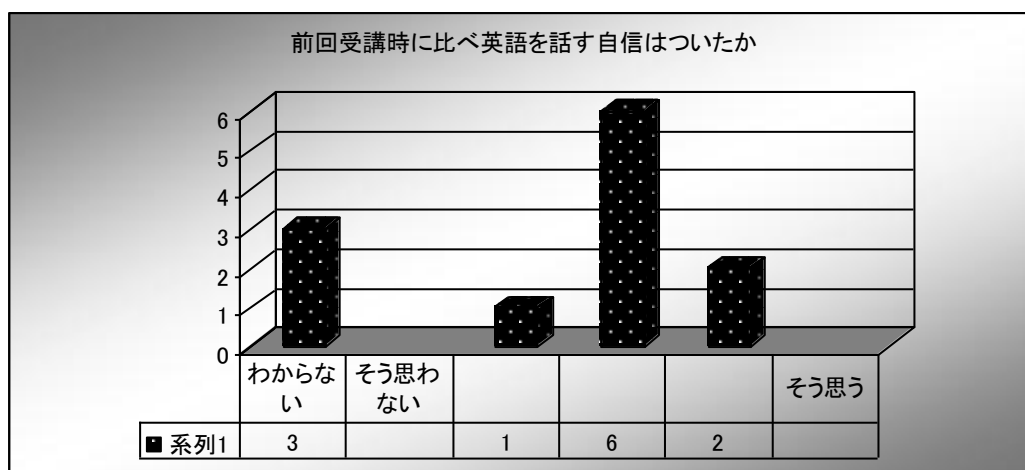
## 2) 受講前に比べて英語を話すことに対して抵抗はなくなったか



- それはどの程度か、または何故か（全員記述）
- 英語を話さないと通じない状況を体験したので、話して当たり前と考えるようになった。
- 日本人英語に慣れた人になら話せる。
- 少し、前よりは慣れたため。
- もともとそんなに抵抗はないけれど、周りが話さないので話づらい。

- ・ 話さなければいけない、という現況に追い込まれることが多くなった。
- ・ 日本人同士で英語を話すことに慣れたため。
- ・ そこまでたくさん話してないから。
- ・ けっこう慣れてきて、何か返事することは出来るようになりました。こちらが話す時間が多いのでたくさん勉強できたからと思います。
- ・ 夏にタイからの留学生との会話を多くしたことの影響が大きく、また、それがきっかけで、英会話教室にも通い始めたので・・・。(前問と同回答)
- ・ 英語で発表したり、ディスカッションしたりすることに慣れたからだと思います。
- ・ カリフォルニアなどへの旅行もあり、良くも悪くも自信はつきました。
- ・ メンバーとのやりとりに慣れてきた。全体的な雰囲気として自発的な発言が増えました。

### 3) 前回受講前に比べて英語を話す際の「自信」はついたか



#### ・それはどの程度か、または何故か (全員記述)

- ・ 声が小さくなりがちであったが、少しずつ自分の言葉でじっくり話せるようになってきた気がする。
- ・ 抵抗はなくなったが、語力が十分でないと分かっているので自信はあまりないです。
- ・ 抵抗はある程度なくなったが、自信がついたと言えるほどではない。
- ・ 英会話教室などで前より英語に接する機会は激増したが、文法・センテンスでしゃべることに対する自信がまだ足りない。何より医学知識を身につけることが絶対条件なので、その辺の自信が全くない。
- ・ 下手でも話したら通じることもあると分かったので、何かは話せるようになりました。話す時間がいっぱいあったのが良かったと思います。
- ・ もう少し経ったら変わるのかもしれませんが。
- ・ なかなか英語の上達が感じられないため、自信はつかない。
- ・ 周りの人の英語力を知る度に、自分の英語力の無さに気付かされる。
- ・ 簡単な文章なら自信を持って話せる。
- ・ 1対1だとよく話せます。
- ・ 話を聞く気のある人にならしゃべれるが、特に日本人の英語に慣れていないひとだと話を聞いてくれないことも多い。そういった人に話しかける自信はあまりない。
- ・ 自分の英語はまだ未熟だと思う。

### 4. 自分の抱える問題点

- ・ 新しいフレーズを覚えたつもりでも、発言しようとする、少し動揺して結局使い慣れたフレーズが出てきてしまう。
- ・ 単純に英語力が足りていない事。語力、リスニング力とか。あと留学するのならば、医学知識・英語は特に足りません。

- ・ 言葉は人との **communication** 手段なので、自信をつけるためには、英語で人と **communication** が成立したという経験が不可欠だと思う。EMP に参加することで、その経験は増えてはいるが、まだ足りないと思う。
- ・ 医学的なディスカッションで用いられる英語のフレーズの種類が貧困。
- ・ 長い文章で自分の考えを述べるのが苦手です。(特に医学的な内容)
- ・ ちょっと頭が悪い。恥ずかしがる。
- ・ 自己学習が足りない。
- ・ 机上の英語学習をしていない。(Grammar や Listening など)
- ・ こつこつ勉強するのが苦手なので、日本にいたらいつまでたっても上達しない気がしてしまう。
- ・ 語彙力
- ・ 英語力不足
- ・ 英語に触れる時間が少ない。

## 5. 前回、自分でたてた今後（中・長期的）の目標とその達成度・進捗状況 （自分でたてた目標）

- ・ ボキャブラリーを増やす。スムーズに会話ができるようになる。
- ・ CD で、リスニング・シャドーイング。語彙力をつける。
- ・ リスニングをあげること・・・だったと思う。
- ・ 自分が言いたいことを伝えるためのボキャブラリーを増やす。
- ・ TOEFL550 点以上
- ・ TOEFL550 点以上、英会話
- ・ TOEFL600 点以上
- ・ TOEFL 等の勉強、すべてにおいて底上げ
- ・ TOEFL550 点
- ・ 皆の前で話せるようになれること（だったと思う）
- ・ 卒業時まで TOEFL で 230 くらい取りたい。
- ・ 語い力を上げる。

## （達成度・進捗状況）

- ・ E-Learning でボキャブラリーを楽しみながら増やすことが出来ていると思うが、会話はなかなか上達しません。
- ・ CD は、車に乗った時などに聞いています。あとは *ER* とかを見るようにはしていますが、実感はあまりない。語い力は、少し医療系のがついたかなと思います。
- ・ 夏休み明けくらいまでは、毎朝リスニング練習が出来ていたが、10 月後半から忙しくなり、さぼりがちになってしまった。
- ・ 日常会話の範ちゅうでは、かなり語いが増えたと思う。けれど時間がかかることもままある。
- ・ 夏休み中に文法の勉強
- ・ 英会話は夏休みに行なった。少しは改善された。TOEFL は受けていません。英単語を車の中でひたすら聞いて語い力をアップしようと試みています。
- ・ 全く進んでいない。
- ・ 正直、あまり進んでいない気がします。
- ・ 春休みに勉強して TOEFL を受ける予定です。
- ・ 80%達成しました。
- ・ わからない。
- ・ まあまあです。

## 6. この EMP4 でもっとも良かった点は

- ・ 2 つのグループに分かれて話すセッション（ホワイト先生、ゲスト先生）の時は特に 1 人あたりの



発言が多かったように思う。

- ・ **ER**は医学英語にふれる機会としてとても楽しかったです。
- ・ 英語を話す機会が得られること。少なくとも、全くないのとは全然違うと思う。レビュー・プレビューも個人ではやる時間が少ないので、レクチャーしてやってもらえるので、ゲストのセッションが効果的。
- ・ いっぱい話せて良かったです。タイ人のお世話でかなり練習が出来ました。
- ・ 英語が大事なこと、自分の英語力の無さに気づき、改善しようと考えられたこと。
- ・ 英語で話す機会を与えられた点
- ・ 周りの英語力を知ること、自分も頑張らないと、と思わされる点。一緒にやることで **motivation** があがる。
- ・ 英語を話す機会が持てたこと。英語に対するモチベーションが上がった。
- ・ タイの留学生と知り合え、たくさん話せた点。
- ・ 英語をしゃべる機会をくれた。モチベーションの維持になった。
- ・ いろんなフィールドの先生の話が聞けて良いと思います。
- ・ (無回答 1名)

#### 7. この **EMP4** で改善すべき点は(建設的な意見を)

- ・ ディスカッションの時に、もっと意見交換をさかんに出来るようにする。ディスカッション時のグループの人数を少なくする。(3人か2人)
- ・ 個人的にもっと **ER**を見て、医学的なことなど下調べをしておけば良かったと思います。
- ・ 特にありません
- ・ 少人数で話す機会が多いほうが良いと思いました。突然やってくる英訳はびっくりするので、無いほうが良かったです。
- ・ このままいろいろな側面から英語、医学英語に取り組みたい。自学勉強をする足がかりを作る授業になると良いかも。その点で **e-learning** は良いと思います。
- ・ 前期の時間割がきつかったので、先生たちの予定も最初に考慮して組み込んでほしい。
- ・ ホームワークがちょっと少ない。
- ・ 分からない。
- ・ (無回答 4名)

#### 8. **e-learning** の感想(現時点での結構)

- ・ 楽しみながら進められていると思う。
- ・ すいません、家のパソコンが壊れて出来なかったので学校のでやっておきます。
- ・ ゲーム感覚で英単語が学べるのでとても楽しかった。特に自分の発音を録音して聞けるのが画期的。単語だけでなく、センテンスまで録音できるのがあれば良いと思う。
- ・ 非常に有意義な学習が出来るので、助かっています。まだあまり進んでいませんが。
- ・ 毎週出来るのですごく勉強になりました。
- ・ がんばっています。何度も繰り返せば私でも覚えるでしょう。
- ・ すぐれたソフトだと思う。結構、内容が多い。
- ・ 1日1日、コツコツやると良いようです。すでに遅れ気味なので、取り戻して行こうと思います。
- ・ 時間がなかなか作れません。
- ・ 面白く勉強ができる。
- ・ まあまあ。発音記号を書いてほしい。今までやった部分を復習できないのはつらい。大体は良く出来てるとは思いますが。
- ・ 勉強というよりゲーム感覚で面白いです。

### <アンケート結果 2 (H 19. 2 実施) >

#### **EMP4 年生 H19 年 2 月期実施後評価**

今後の EMP プログラムの改善に役立てますので以下の質問に正直に答えて下さい。

1. 何年生か 4 年 (全 9 名)

2. ゲスト・ホワイト担当の follow-up セッションについて

1) このセッションはあなたにとってどれくらい有益でしたか。5 段階で評価して下さい。



5 とても有益であった	5 人
4	3 人
3	0 人
2	0 人
1	0 人
0 有益でない	0 人

(無回答 1 名)

2) このセッションで最も有益だった点を思いつくままに書いて下さい。

- ・自分だけでは思いつかないようなポイントについて説明してくれて、授業の理解度が深まった。
- ・有用な表現を教わったこと
- ・単語の意味を解釈してくれた点
- ・前回の授業での良い言い回しや自分の不十分な点を指摘してくれたところ
- ・医学的なことを英語で表現する力がつきました。
- ・英語についての疑問を前もって解決できたので、授業の理解度が深まった。
- ・事前にセッションの内容を確認できた。セッションでの表現など、良く聞き取れなかった単語・内容を復習出来た。
- ・本場の先生に授業しえもらえたこと。
- ・プレビューでは DVD 中で出てくる word をリストアップしてくれたこと。すべてのセッションを通して、先生や学生が使った表現の中で、ポイントとなる言葉を抜き出してリストにしてくれたこと。セッション中、学生がうまく表現出来なかった部分を記録して、その問題解決をみんなで share できたこと。

3) このセッションで改善すべき点を思いつくままに書いて下さい。

- ・特になし (5 名)
- ・無回答 (4 名)

4) 以下の項目についてあなた自身について該当する箇所に○印を付けて下さい。

(数字は回答した人数)

	大変満足	満足	あまり満足していない	満足していない	わからない
あなたの目標達成度	2	5	1		
セッションのインプット量	5	3			
セッションのインプットレベル	5	3	3		
セッションへの参加度	3	2			
資料類(映像を含む)	6	2			
期間の長さ	7	1			
使用教室	5	3			
設備類	5	3			

「あまり満足していない」「満足していない」とした項目についてその理由を書いて下さい。

- ・ まだまだ自分の積極性が足りなかったなあ、と思いました。
- ・ 少し消極的になってしまった。

- ・ 疾患に関する高度な知識を除いて、内容レベルは適切であったと思う。新しい単語や知識の量、セッションの内容も同様に。
- ・ 再試が最終日と重なり、EMP だけに専念することが出来なかったことはとても残念であり、申し訳なかった。

### 3. Dr. Vichai セッションについて

1) このセッションはあなたにとってどれくらい有益でしたか。5段階で評価して下さい。



5 とても有益であった	6 人
4	1 人
3	1 人
2	0 人
1	0 人
0 有益でない	0 人

(無回答 1 名)

2) このセッションで最も有益だった点を思いつくままに書いて下さい。

- ・ タイでは日本ではあまり起こらないであろう疾患があるということと、それについて詳しく教えてもらった点
- ・ 医学的に知識が増えたこと
- ・ 英語を母国語としない方でも英語をちゃんと話していて、いい刺激になりました。
- ・ 日本では珍しい疾患について、詳しいお話を聞くことが出来ました。
- ・ 日本ではあまり見ないような症例について（ Dengue 熱や APED ） case study が出来たこと。4 年生のレベルにあったセッションになるよう気を配ってくれたこと。
- ・ 元々ある医学的知識を、英語で output する練習が出来て良かった。
- ・ Dengue 熱・セラセミアなどの特定の疾患について詳しく知ることが出来、またそれについて英語でのセッションを受けられたこと。
- ・ 1 人ひとりに尋ねてくれたこと。迷っていても質問されたので発言できた。
- ・ タイの common disease についてよく分かった。

3) このセッションで改善すべき点を思いつくままに書いて下さい。

- ・ もう少し予習していけばよかったと思う。(疾患自体について)
- ・ スライドが途中でオーバーヒートしてしまったこと。

4) 以下の項目についてあなた自身について該当する箇所に○印を付けて下さい。

(数字は回答者の人数)

	大変満足	満足	あまり満足していない	満足していない	わからない
あなたの目標達成度	3	5			
セッションのインプット量	5	3			
セッションのインプットレベル	5	2	1		
セッションへの参加度	2	2	3	1	
資料類(映像を含む)	5	2	1		
期間の長さ	6	2			
使用教室	5	3			
設備類	5	3			

(無回答 1 名)

「あまり満足していない」「満足していない」とした項目についてその理由を書いて下さい。


- ・ Vichai 先生が私たちのフォローをするために質問をかみ砕き、発言しやすいようにしてくださっ

たので、以前の外国人講師の先生（Dr. Skelton）のセッションに比べ、発言数が増えたように感じた。

- ・ 少し消極的になってしまった。
- ・ 疾患自体に対する知識が少なかったので発言しづらかった。
- ・ 2日目の資料が直前に来たので、消化しきれなかった。
- ・ かなり緊張してしまったから。

#### 4. Dr. Waffarn セッションについて

1) このセッションはあなたにとってどれくらい有益でしたか。5段階で評価して下さい。



5 とても有益であった	8 人
4	0 人
3	1 人
2	0 人
1	0 人
0 有益でない	0 人

2) このセッションで最も有益だった点を思いつくままに書いて下さい。

- ・ 質問を絶えず受けて、考え続けることが出来た点
- ・ 患者さんへの対応も学ぶことが出来たし、医学英語も学ぶべき表現がたくさんありました。
- ・ 映像を見てディスカッションする、という形式が面白かった。医師—患者の人間関係の構築について理解が深まった。
- ・ Interview や physical examination の具体的な例を取り上げて、医師—患者間のラポールの構築について学べたこと。周産母子センターの回診も印象深かった。
- ・ いつもと違う、アメリカなどdのセッションの雰囲気を実感できた。Ballad Score について分かった。
- ・ 英語力の無さを実感出来た。
- ・ 医療面接について、初めて知ることが多く、新たな発見が多かった。セッションの中でいくつかの大切なポイント（医者—患者の関係について）を詳しく、また実践的に教われたことは、大変良かった。
- ・ 1人ひとりに尋ねてくれたこと。迷っていても質問されたので発言できた。
- ・ アメリカの consultation を見られて勉強になった。NICU での実習はとても印象的だった。

3) このセッションで改善すべき点を思いつくままに書いて下さい。

- ・ もっと皆でセッションに参加する雰囲気を作る。
- ・ 4年生を病棟に入れるのなら、学生には事前に連絡が伝わるようにして、準備について説明したほうが良いと思う。赤ちゃんに触るのに爪が伸びていたり、マニキュアを付けていたりした人もいた。「常識」と思われるかもしれないが、ポリクリ前の4年生には自然にできることではない。
- ・ もっと活発なディスカッションが出来れば良かった。

4) 以下の項目についてあなた自身について該当する箇所に○印を付けて下さい。

(数字は回答者の人数)

	大変満足	満足	あまり満足していない	満足していない	わからない
あなたの目標達成度	5	2	1		
セッションのインプット量	7	1			
セッションのインプットレベル	6	2			
セッションへの参加度	4		3		

資料類(映像を含む)	5	2	1		
期間の長さ	5	2			
使用教室	5	3			
設備類	5	3			

(無回答 1名)

「あまり満足していない」「満足していない」とした項目についてその理由を書いて下さい。

- ・ 再試のため NICU でセッションに参加できなかった。
- ・ Dr. Waffarn のセッションは少しテンポが速く、クラスが全体的に発言しにくい雰囲気となってしまったことが残念であり、言いたくても上手に伝えられない語彙不足と speaking の実力不足を実感した。
- ・ 少し消極的になってしまった。
- ・ 自分がセッションに参加できていなかった。
- ・ 英語力や知識が足りていないと分かった。
- ・ 発言する雰囲気ではなかった。
- ・ DVD の音が小さかった。

## 5. 全体的な観点から

1) このプログラム全体を通して 5 段階で評価して下さい。

↑ ↓	5 とても有益であった	8 人
	4	1 人
	3	0 人
	2	0 人
	1	0 人
	0 有益でない	0 人

2) プログラム全体を通して最も良かった部分（とその理由）は何でしたか。

- ・ 国際的な英語に少し慣れることが出来た点
- ・ 学べき英語表現がいっぱいありました。
- ・ 日本では勉強しにくいジャンルの知識を深めるよい機会だったと思う。英語で NICU の実習が出来て良かった。
- ・ 臨牀的なレベルでコミュニケーション手段としての英語が学べたので、海外での実習を想定する場合、とても実践的だった。
- ・ 少しではあるが、speaking のレベルをあげることが出来たと思う。
- ・ Case study や DVD を使った授業が新鮮で、興味を持てた。

3) プログラム全体を通して改善すべき部分（とその理由）があれば書いて下さい。

- ・ 発言数をもっともっと増やしたい。予習はさらにセッションで発言できるよう自分の考えをまとめたり、質問をみつけたりしておくほうが良い。
- ・ 再試を持ってしまったことが、1 番の反省点です。
- ・ 検討の結果、この時期しかないのは分かっているが、再試期間と重なり参加出来なかったり、余裕のない中での参加で準備がちゃんと出来なかったりしたのがもったいない。
- ・ 再試期間とかぶっていたので参加出来ない人がいたのが残念だったと思う。
- ・ NICU に持ち込めるものと持ち込めないもの。
- ・ もし再試験もないのに参加していない学生と、そうでない学生を同等に評価されたら少し困ります・・・。



4) プログラムの実施期間（時間）についてどう思いますか。

＜実施期間＞（無回答 1 名）

長い	0 人
ちょうど良い	8 人
短い	0 人

＜1 回の実施時間＞（無回答 2 名）

長い	0 人
ちょうど良い	7 人
短い	0 人

5) このプログラムは年何回実施するのが適当だと思いますか。（無回答 1 名）

1 回	0 人
2 回	5 人
3 回	3 人

6) このプログラムで得られた成果は何ですか。

- ・ 英語で話し合う（会話ではなく）ことの大変さと大事さ
- ・ 期待していたよりたくさん医学的な知識がつかえました。
- ・ 医学の知識と、外国に実習に行ったときのイメージトレーニングが出来た。
- ・ **Case study** や **medical interview** を英語で行う際に必要な **skill** が向上した。医学単語の英語を知っていることも必要だし、方法の日本と海外の差を知ることも必要だった。
- ・ セッションの中での新しい知識、講師の先生とのコミュニケーション
- ・ 発音がちょっと変わっただけでも難しくなるんだなあ、と思った。経験できて良かった。
- ・ 海外のドクターの話聞いたことと、論文を読むことが出来たこと。

7) 自分にもっとも欠けているものは何でしたか。

- ・ 発言力、英語力
- ・ 論じる力
- ・ 積極性（3 名）
- ・ 発言するための十分な語い力と、言葉の構成力、**listening** 力
- ・ 英語を聞き取る能力。DVD を何度見ても何を言っているのか分からないこともあったし、セッション中に先生の質問が聞き取れないこともあった。
- ・ 前半での積極性と準備

8) あなた自身が英語力を伸ばすために、今後半年間での目標設定があれば書いてください。

- ・ 洋書の専門書（**Robins Basic Pathology**）を読む。あと英単語とリスニング
- ・ 単語の本を終わる。
- ・ TOEFL を受ける。
- ・ ポリクリをするときに自分が担当する症例 1 つにつき 1 つは英文の論文を読みたい。ER を見て、何度か見るうちには字幕なしで理解できるようになりたい。
- ・ 医学用語の知識（英語）を増やす。日頃の EMP で、発言する、自分の考えを伝える練習をする。
- ・ 医学英語をもっと身につける。
- ・ **Listening, reading**, 論文を読む。

9) その他気づいたことがあれば何でも結構ですので書いて下さい。

（特に記入者なし）

### 3 看護学科 4 年生 ENP

- ① 参加者（教員）による授業報告と感想
- ② 資料
- ③ アンケート結果



#### ① 参加者（教員）による授業報告と感想

通常の時間割内で、9回の授業を実施しました。

参加者は6名（河野文子、佐藤よし美、長崎愛、榊野健吾、溝口由香梨、米井歩）でした。卒業後国際医療などをを目指す人たちのために、看護師として英語を話す患者とのコミュニケーション能力を身につけるために想定して実施しました。

10月2日の2コマ目に講義棟301教室で玉田が説明会をしました。参加者は11名でした。趣旨や日程を説明しました。参加を迷っている人が大半で、説明会での説明を聞いて決めるとのことでした。

10月5日

玉田吉行

榊野くんが授業報告第1号を掲示板に報告してくれていますので、ここに載せておきます。しっかり書けていますね。あとでやったことをあれこれ分析してまとめるのも、大切な作業のようですね。フィードバックというらしいです。何をやったのか、それがどう役に立つのか、みたいなことのように。面倒臭い作業ですが、楽しみでやってもらえると嬉しいです。

南部さんと僕は、ERIII6Aの"Calling Dr. Hathaway"を使うべく、目下準備中です。英語の字幕の方は印刷原稿を準備しました。火曜日にはDVD-RとCD-Rも作れると思います。出来たら届けます。（玉）

10月5日の授業報告

榊野健吾

今日は、久しぶりの英語の講義だったので少し緊張していました。しかし、ゲスト先生のアットホー

ムな雰囲気すぐにリラックスできました。第一回目の講義は看護師のための患者への基本的情報収集と病歴の質問と受け答えについて学習しました。単純な質問にもかかわらず、英語の文法を忘れた私にはとても難しかったです。2人一組になって、質問と受け答えをしましたが、書き言葉と話し言葉が違ったり、いかにスムーズに聴取できるかが難しかったです。また、医療用語やフレーズも学習し、聞きなれない単語の多さに英語の勉強の必要性を強く感じました。充実した授業でした。

Masuno Kengo

This was my first English lecture in a long time, so I felt a little nervous. I would like to thank Mr. GUEST for the relaxing atmosphere of his class. In the first lecture of ENP, we learned about "Basic Information and Patient History Questions for Nurses." The questions were simple, but it was very difficult for me, because I forgot English grammar. We worked in pairs and gave answers. It was difficult to understand the differences between written words and spoken words, and we had to speak smoothly. We learned many common medical terms and phrases. A lot of the phrases that I had not heard before made me feel that learning English is necessary. We felt a sense of fulfillment.



10月11日

南部・玉田が使う資料を配りました。

10月12日 (Guest)

Yukari Mizoguchi

We learned how to give instructions to patients. At first, we talked about situations in which we might need to give instructions. Then we thought about what to say in each case.

For example, when we want to listen to the chest, we say "Take off your shirt" "Breathe deeply." "Turn round." "Put on your shirt." When we want to give an injection, we say "Roll up your sleeve." "Extend your arm." etc...

We enjoyed this class so much. We'll practice a lot to be able to give instructions to patients who don't speak Japanese. Even though we forget English, we won't forget gestures! ^^

10月19日

Ayako Kawano

Today's lecturer was made by Mr. White. We learned the English for parts of the body. We learned a lot of new words, and the class was very interesting. In English there are many common expressions for body parts that are difficult from technical or medical names. For example, "adam's apple" is the cartilage of the thyroid. Maybe there are many other expressions like this and we are interested in learning them.

10月27日

Yoshimi Sato



In this lecture, we received the explanation of "e-learning" with nurses from Mr. Yasunami. It is a way to make a self learning of English by listening tests, using a personal computer. If we can access Internet, we can use it anytime.

We actually tried "e-learning". Because it was my first experience, I felt it was fresh and fun to use it. The materials of listening tests of it are taken up from VOA news on Health and Medical. I was interested in all of the materials. I want to continue using it.

To learn "e-learning" became my valuable experience. I think I want to tell it to friends who are interested in English.

11月2日

Megumu Nagasaki

This day was the first class with Prof. Tamada and Ms. Nambu. We spoke about motivation for learning English and experiences of traveling abroad etc, one by one. Afterwards, we heard stories about Africa from Prof. Tamada, we heard Ms. Nambu self introduction and the reasons for her participation in ENP. Her smile was wonderful.

11月16日

Yukari Mizoguchi

First, we played a definition game to warm up. Ms. Nambu gave us a piece of paper on which 10 English words were written. (You, night, baby, mortuary...) We made pairs. We defined the words in English by ourselves and explained them to the partner. The partner had to guess what it is. The team which could make our partner guess 5 words first was the winner. Ayumi and Yoshimi won. We enjoyed it very much. Explaining in English was very difficult but it was a good training for speaking English.

Next, she gave us another paper on which conversations between a mother and a nurse were written in Japanese. The title was "Something's Wrong With My Child!" We translated it to English. For example, Nurse: We'll treat him in the emergency room, so please wait here. You must have been surprised when it happened...

Then we watched ER. She asked some questions about it. We listened carefully to what the doctors and the nurses said. Some parts were too fast to understand.

We also learned medical words and how to express our sympathy to the family in this session.



11月19日

Ayumi Yonei

In today's class, we played the definition game first. This game was very fun. I even though my English vocabulary is not so good and it was difficult for my partner to guess the words, but I learned the importance of trying. Next we watched a DVD. Although I understood the scene that we watched, it was difficult to discuss it in English with my partner.

11月30日

Yoshimi Sato

This was second session of Mr. Guest. Following his last session in which we learned to ask basic information and patient history questions for nurses, We learned how to verbally report patient information.

At first, we tried listening to the patient information. After we received explanations we thought how to verbally report the patient information

Next, we tried verbally reporting the patient information to each other.

In addition, we learned about patient charts. Patient chart means "Karute" in Japanese. In this section, we learned the meanings of English medical words. For example, on the chart we saw "PRESENT COMPLAINT", "O/E", "POINTS OF NOTE", "INVESTIGATIONS" and "DIAGNOSIS" .

The first session of ENP, I could only understand a little spoken in English. The final session, I was able to understand spoken in English more. So, I was happy. I believe I got listening comprehension through the eight ENP sessions.

Also, because there was joking, laughing, and easy explanations of Mr. Guest, This session was fun. And this feeling pushed me to speak more. I will miss ENP. But I believe these feelings are also important for learning English. I want to continue learning English and keep these ideas and English medical expressions in my memory.

### <ENP 講座の感想>

Ayako Kawano

I learned a lot of things through ENP. I experienced for the first time not to speak Japanese in class. I could understand generally what someone was saying, but I couldn't explain myself well. It was very difficult to explain myself. I felt the need to build a strong vocabulary.

Although these sessions were brief, I enjoyed them. I want to try to follow up learning English. In the future, I will become a nurse, I encounter foreign patients, I want to ease their anxiety by speaking English.

Through ENP:

Yoshimi Sato

In the ENP sessions we had to speak in English only.







During the first session, I remember getting a little worried about being able to keep up the class. I feel that gradually I've become able to understand spoken in English in ENP sessions. These sessions were good for listening comprehensions and gave me some confidence.

I was given three reports to write in English. The first report was hard for me. I learned that helped me study and write in English. Also writing reports in English was fun. I think that writing in English helped me learn new expressions in English. Again, these opportunities gave me confidence.

I also took notice of another challenge that lie ahead-speaking. Through the ENP sessions, I began speaking more. But most times couldn't say what I wanted to say English. There were many things I wanted to say, but I didn't know how.

What I learned through the ENP sessions has lead to giving me more confidence. I think that the more I speak the more I will be able to speak. I need a positive attitude.

In the ENP sessions, I learned many English expressions including medical expressions and I learned methods for studying English. It was fun, so I like English more. I will always remember this experience. I want similar enjoyable opportunities to study and speak English.

Megumi Nagasaki

I joined ENP, because I wanted to study medical English in more detail. I don't studied English for a long time, so I couldn't remember many words.

At first, I was afraid to speak because I didn't want to make a mistake, when I spoke English. But, I also felt that I wouldn't improve if didn't speak without worrying about making mistakes. From now on, I want to speak English without feeling nervous about making mistakes.

I would like to continue studying English so I don't forget what I've learned in ENP.



Kengo Masuno



My attitude to English learning was only for passing the university entrance examination when I was in high school, and then for earning credits since I have entered this university. I used to like studying English when I was a junior high school student, but I disliked it when I was in high school because English classes were focused on rote learning. One of the most important things I learned through ENP was "Do not be afraid of speaking English." All teachers said, "Don't hesitate to make misstates. Try to speak English." The ENP class style reminded me of the joy to study English.

Still it was too difficult for me to speak English because of the rote learning method I had took. ENP made me realize that how little I know about English, not to mention making my English improved. Nevertheless, it was a good thing to find my weak point. Thank you so much.

英語に取り組む姿勢は、高校の時は大学入試、大学に入ってから単位をとるための英語の勉強方法になっていた。中学の時は好きだった英語が、高校の時から知識の詰め込みの英語になり、嫌いになっていた。ENPの授業を受けて一番学んだことは、英語を話すことを恐れないということです。どの先生方も「話すことを恐れるな、何でもいから話そう」と、今までの英語の授業とは違うスタイルをとっていて、英語を学ぶ楽しさに再度気がついた。しかし今までの英語を詰め込み式の勉強方法をとってきた私にとっては英語を話すことはとても難しかった。今回のENPでは、自分の英語のレベルを上げるところか自分の英語があまりにもできていないかを知った。しかし、自分の弱点を学べてよかった。先生方、本当に本当にありがとうございました。



What I learned through ENP:

Yukari Mizoguchi

ENP gave me a lot of opportunities to speak English. In particular, discussion about ER and the "Definition game" were very good training for me.

I felt disappointed when I couldn't make myself understood in English. But now I know "trying" is the most important thing.

I'm going to keep studying English and do my best to help patients who don't speak Japanese.



Ayumi Yonei

ENP was a good thing for me. At first I was nervous about this class, because I can't speak English well. But, I learned to express my feelings and felt good about the class.

The classes had a good atmosphere and teachers were very willing to listen to and answer questions. It was a short course, but it gave me confidence.

Thanks to everyone involved.

## ② 資料

### (1) <説明会で配った資料です>

\*\*\*\*\*

2006 年度後期

### 看護学科 4 年生 ENP 概要

看護学科年 3・4 年次の ENP は、医学科で既に実施されている EMP と、5 月末から開始予定の附属病院看護部の ENP とともに行なわれる「英語が使える医療人を育てる」ための医学部全体の取り組みの一環です。

目標は、卒業後国際医療などをを目指す人たちのために、看護師として英語を話す患者とのコミュニケーション能力を身につけるため、です。(近い将来、現在計画中のアジア・アフリカからの学生受け入れに向けて、医学科同様に海外での単位互換を伴う臨床実習のためという目標を設定したいと考えていますが、今回には間に合いませんね)

言葉がすぐに身に付くはずありませんから、この ENP をきっかけに、自分一人で何が出来るか、何をすべきかを考え、継続してやっていく各自にあった方法を考えて下さい。

英語科の 4 人(玉田・横山・ゲスト・ホワイト)が相談に応じます。4 人のプロフィールを <http://tamada.med.miyazaki-u.ac.jp/scientific/enp/> の [about](#) に掲載しています。(宮崎大学医学部→講座等紹介→社会医学講座「英語」分野→ENP)

(概要) Course N3-

1. Tamada- Introduction and Class Guide

2. Guest- Speaking/listening focus

Asking basic information questions from a form, asking questions about conditions, lifestyle habits allergies etc. from a form (review and expansion from 1st year classes)

3. White- Speaking/listening focus

Bedside manner questions regarding problems, pain etc. Giving physical instructions to patients re: body movements, taking medicine.

4. Yokoyama, Yasunami - E-learning, Practice for computer aided self-learning

5. Nanbu- Listening / discussion focus

Learning useful expressions, tips for having a good relationship with a patient, and discussion about the role of a nurse with the use of "Calling Dr. Hathaway", episode 19 from "ER III".

(日程)

10月2日(月)(10:30~12:00)(紹介、登録、連絡網作成)(玉田)

10月5日(木)(10:30~12:00)(GUEST or WHITE)

10月12日(木)(10:30~12:00)(GUEST or WHITE)

10月19日(木)(10:30~12:00)(GUEST or WHITE)

10月26日(木)か27日(金)のいずれか(5:00~6:00)(E-learning)(横山)熊本大安浪助教授  
報処理室 205 ENP3, 看護学科教職員、病院 ENP と合同

11月1日(水)(2:50~4:20)(南部・玉田)

11月9日(木)(10:30~12:00)(南部・玉田)

11月16日(木)(10:30~12:00)(南部)

11月30日(木)(10:30~12:00)(GUEST or WHITE) ENP

(2) <授業前に配った資料です>

\*\*\*\*\*

**006 年後期 看護学科 4 年 EMP (南部・玉田)**

準備したもの

**1 ERIII-6-A (全体) の DVD-R 1 枚**

**2 ERIII-6-A (全体) の英語字幕のプリント(B4 表裏) 7 枚**

**3 ERIII-6-A (取り上げる 9 シーン) と医学用語 (附録と一課) の CD-R 1 枚**

**4 ERIII-6-A (取り上げる 9 シーン) の英語字幕のプリント**

**5 医学用語 (附録と一課) のプリント(B4 表裏) 2 枚**

**6 解説のプリント (このプリント) (B5) 1 枚**

予定の内容

医学用語とホームページの解説と、パワーポイントを使つての imaginative listening の話をしようと思っています。(玉田)

『ER 緊急救命室』 III6 の第 19 話『Calling Dr. Hathaway』を教材として、会話の聞き取りやディスカッションを中心に進めていきたいと思います。画像教材としての DVD-R と音声ファイルの CD-R、そして英語のスクリプトを準備しました。音声ファイルに納めてある 9 つのシーンを中心に、会話の聞き取りの練習になれば良いと思います。内容に関して英語での質疑応答も考えています。看護師の仕事に誇りを持つキャロルの言動をとおして、看護師という職業について英語でディスカッションをする時間も取れるといいなと思っています。(南部)

**CD**

01 Carol 1	10.7MB	1:04	L5
02 Carol 2	12.2MB	1:13	L5
03 Carol 3	8.85MB	0:51	L5
04 Carol 4	6.49MB	0:39	L5
05 Carol 5	24.9MB	2:28	L5
06 Carol 6	10.2MB	1:01	L4
07 Carol 7	9.04MB	0:54	L4
08 Carol 8	7.96MB	0:47	L4
09 Carol 9	5.33MB	0:32	L4
10 Medical Terminology-Appendices	38.4MB	2:46	L1
11 Medical Terminology-Section One	13.3MB	2:46	L1

L1 比較的に聞き易い

L2 聞き易いが、内容的に少し難しい所がある

L3 内容的にも音声的にもやや難しい

L4 スピードもあり、内容的にも音声的にも難しい

L5 内容的に特殊で、妨害音やスピードもあり、かなり難しい

(MLB, NBA などの実況中継や、医学・工学などの専門分野での解説映像など)

\*\*\*\*\*

### (3) <ホームページに書き込んだ経過報告です>



「ノアと三太」：<http://tamada.med.miyazaki-u.ac.jp/tamada/>



10月3日に登録した人は6名です。教務の中原さんが名簿を作って送って下さいました。下の名簿の欄に書き込んでいます。何かの縁でしょうから、これからいっしょにやってみましょう。少しでも運用力をつけて自信を持つきっかけになれば嬉しい限りです。

榊野くんが連絡係をやってくれます。よろしくお願いします。5日(木)から、早速ゲストさんの授業があります。6人ですので、研究室でやれますし、ペアを組むにもちょうど良かったです。説明会でも言いましたが、普段継続してやるのが大切ですので、色々やって下さい。英語科の4人と南部さん(非常勤)は、いつでも相談にのりますので、いつでも遠慮なく。ERのDVD-Rや聞き取り用の材料もありますので、利用して下さい。

榊野くんが連絡網を届けてくれました。僕の方から榊野くんにご連絡をしたあと、その連絡網を使って連絡が行くようになりますので、よろしく。このページの掲示板も活用して下さい。折角、大変な思いをして作り、維持するのにも時間と手間をかけていますので。

### (4) <直前に配布した e-learning 講習会についての資料です>

#### 看護学科 ENP・教職員、 病院看護部 ENP のための ENP e-learning 講習会

日時：2006年10月26日(木) 5:00~6:00、27日(金) 5:00~6:00 のどちらか

場所：総合教育研究棟2階情報処理演習室(看護学科の棟です)

対象：看護学科 ENP・教職員、 病院看護部 ENP

120名までは受講可能ですので、希望される方は下記に問い合わせ下さい。

英語科 内線 2183(玉田)、内線 2182(横山)

2006年度学長裁量の教育戦略経費で e-learning の専門家をお呼びする計画を立てました。特に、看護部 EMP を希望しながらまだ受講できない人にも是非機会を提供できればと考えました。継続的に自分で英語の学習が続けていけるきっかけになれば幸いです。

## 「ENP e-learning コース」の概要

このコースは宮崎大学医学部 ENP プロジェクトのためのものです。インターネットに接続できる PC であれば、いつでもどこからでもこのコースにアクセスすることができます。この教材を活用して、皆さんの英語リスニング力の向上を図ります。教材は、VOA(Voice of America)で放送された健康や医療に関するニュースから作られています。実際に非英語話者対象に放送されている生の教材です。日本人学習者のために考えられた語彙、大意把握、内容把握、イディオム確認、英語表現の練習問題があり、自学自習により学習を進めることができます。

### 講師紹介

### 安浪誠祐（やすなみせいすけ）

熊本大学大学院文学研究科英文学専攻修士課程修了（文学修士）。高校教諭、熊本電波高専助教授、熊本大学文学部助教授を経て、2003 年同大大学教育機能開発総合研究センター助教授（現職）。2006 年同大大学院社会文化科学研究科教授システム学専攻兼任（現職）。研究分野は CALL、ESP（特別な目的のための英語教育）など。現在は学部の英語教育と全国初の e ラーニングシステムを用いた大学院で「外国語教育における e ラーニング」を担当されています。



## ③ アンケート結果（2006/11/30 実施）

### <評価項目>

#### 1. 玉田・南部のセッションを振り返って

##### 1) もっとも難しかった点

- ・ 英語を聞く力がなく、英語を話す上での発音（省略する音等）を聞き取れなかった。
- ・ ER をみながら自分の考えを話すことが難しかった。
- ・ 特にはなかった。難しいくらいがちょうど良い。
- ・ ER のヒアリング、自分の考えを英語で表現しなければいけない点
- ・ 自分の考えを英語で表現する。（特に DVD の感想を述べたりするところ）
- ・ ER のシーンの中で、日本でも良くあるシーンだけれど、そのときの状況や自分の考えを英語で表現するのがとても難しかった。

##### 2) 何が問題なのか

- ・ 英語を勉強するときに、カタカナ発音に頼りすぎて、実際にリスニングでは対応できない。また、全ての言葉を聞こうとして、話す内容の重要なところとそうでない所をきちんと把握していない。以上が問題である。
- ・ 日本語では考えられても、うまく文章にして話すことが出来なかった。
- ・ 語い力、表現力
- ・ 自分の表現力が足りない。
- ・ あいまいな感情を表現することが難しいから？

#### 2. ゲスト・ホワイトのセッションを振り返って

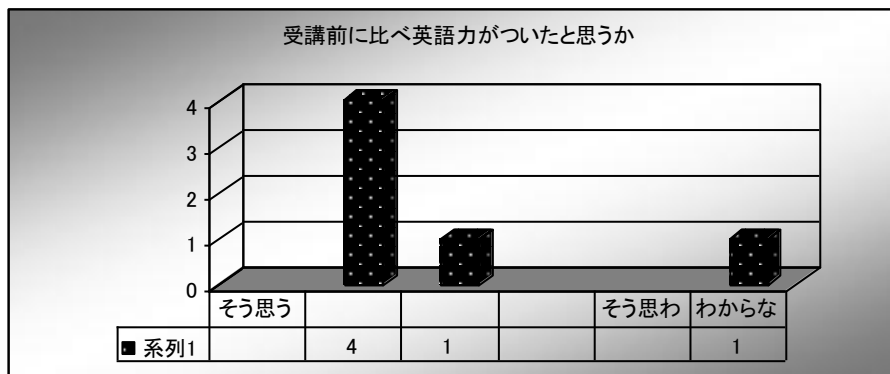
##### 1) もっとも難しかった点

- ・ 単語、文法もちろん難しかったが、自分が思っていることを伝えることが難しかった。「こう言いたいんだけど」と思っていることが英語で表現できず苦しんだ。
- ・ 患者への説明の仕方や情報を伝える時の言い回し
- ・ 自分の知りたい患者の情報をうまく聞き出すことが出来なかった点
- ・ 特になかった。
- ・ 今からやることの説明が長くなるとついて行けなくなったところ

##### 2) 何が問題なのか

- ・ 話したい言葉を文法に沿って話そうとするのであるが、文法も理解していないので、頭の中で混乱し表現できないことが問題だと思う。
- ・ 簡単な単語が出てこないで自分の単語力不足
- ・ 表現力、語彙力、頭の柔軟性

### 3. ENP 受講前・受講後の英語力について

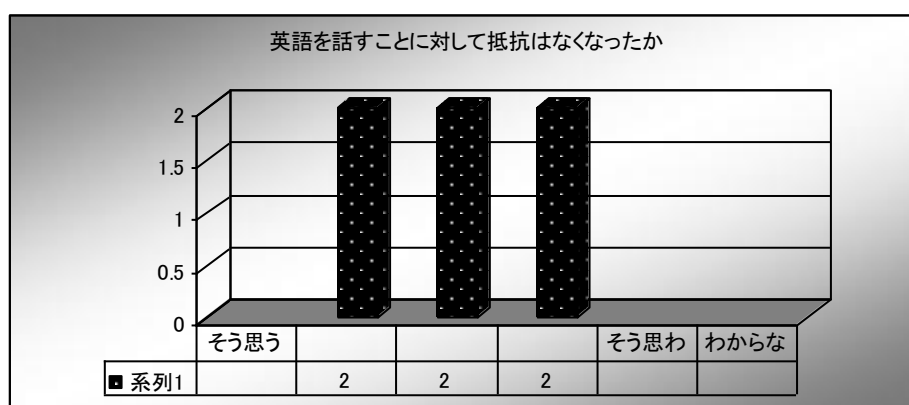


#### 1) 受講前に比べて英語力が伸びたと思うか

##### ・それはどの程度か、またはなぜか（全員記述）

- ・ 高校の時は、英語は苦手ではなかった気がするが、大学に入って英語に触れなくなったため、英語を忘れてしまい、それが浮き彫りになったから。
- ・ 医療に関する単語が分かったり説明や情報収集の仕方など。実際に使えるものをしたり、復習や予習をすることで、忘れていたことも思い出せたり、新しいことも知ることが出来たので。
- ・ 少し。医療の専門用語を覚えられた。英語を話す機会が持て、家でも勉強するようになった。
- ・ 今まで知らなかった医学的基礎単語を学ぶことが出来た。
- ・ 今まで知らなかった表現法（医学英語も含め）を知ることができ、知識が増えたから。まわりが英語なので、聴く力が受講前より付いたと思う。
- ・ 英語力というよりも、今自分が持っている知識で何とか伝えようという気持ちが成長した。

#### 2) 受講前に比べて英語を話すことに対して抵抗はなくなったか



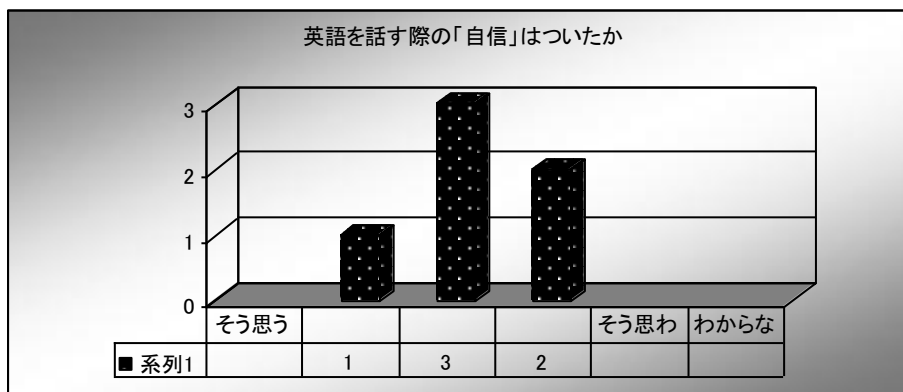
##### ・それはどの程度か、または何故か（全員記述）

- ・ 話すたびに文法を理解していない自分に気付き、自己嫌悪にかられる時があったから。
- ・ 初めは間違わないようにとか、恥ずかしいかと思ったりしていたが、間違っても正しい言い方や単語を教えてもらったりして、口に出さないことにはどうしようもないと思ったので、初めと比べて抵抗はなくなった。



- ・ 少し。何でもいいので話す。話す訓練が出来たと思うから。
- ・ 英語で話すことに自信がないので、抵抗を感じないことはないが。
- ・ 以前に比べると抵抗は少なくなりましたが、自分の話していることが伝わるか考えると、英語を話すことにおくしてしまう所があるから。
- ・ 病棟で外国の人がいたら、今までは関心がなかったけれど、話しかけている自分に気が付いたから。

### 3) 受講前に比べて英語を話す際の「自信」はついたか



#### ・ それほどの程度か、またはなぜか (全員記述)

- ・ 話す技術的なことについて自信は、今までのライティングのみの勉強や押し込みでの英語の勉強方法が間違いだと気付かなかったが、英語を話す姿勢として重要なのは完璧に話すことではなく、伝えようとする気持ちだと気付いた。
- ・ 自分の知ってる単語などで分かる範囲でいいので、とりあえず自分から口に出して話すことが大事だと思った。でもまた、単語や言い回しなど自分が使えるものが少ないので、自信まではないです。
- ・ 話したいことを話せたり、考えてるときにどう話していいか分からない時にヒントをくれたので話しやすかったし、言いたいことを伝えられた。
- ・ 英語を話すことに自信がないので抵抗を感じないことはないが、話したい、話せるようになりたいという気持ちは強くなった。
- ・ 自分の話したいことを表現したり、発音に自信がないから。
- ・ 自信とまではいかないけれど、話すことへの怖さはなくなったから。

### 4. 自分の抱える問題点

- ・ 私の抱える問題点はたくさんある。まず、文法、単語について知らない。もしくは分からないことが多いということ。発音に対し、カタカナに頼っていること。文法にこだわりすぎて、何も話せなくなってしまうこと。
- ・ まだ話すときに、まず日本語の文章を作って英語に変えて間違わないようにと思ったりすることや語彙力が少ないこと。早い会話になると聴き取るのが難しい。
- ・ 1人が分かってしまうと他の人が言えない。特に私は分かたらすぐに答えてしまった。すると他の人の発言を邪魔してしまうことになる。でも誰かが言わないと先に進まないの・・・と思って発言していたが。
- ・ まちがってもいいので積極的に話す。
- ・ なかなか発言をしようとしなない所
- ・ 分からない単語が多すぎる。聞き取る英語に慣れていない。

### 5. 今後の中・長期的な学習目標

- ・ 文法だけに固執せずに、しかし必要最低限の文法の整理を行う。もっとライティングだけでなく、スピーキング、ヒアリング等、総合的に英語の学習を行う。

- ・ このまま継続していき、語彙力を増やすこと。英語を聞いて英語に慣れること。
- ・ TOEIC900 点突破、英検 1 級
- ・ 普段から英語を身近に感じていく。テレビ、映画、音楽、コミュニケーション能力を身に着ける。社会（病院）で働く際に外国人の患者さんとコミュニケーションでき、看護が出来るようになる。
- ・ 英語を使って表現してみたり、本を読んだりして、たくさん英語に触れるようにしていきたい。積極的にいろんなことにチャンスを大事にできるように行動していこうと思う。
- ・ 聞いて話すという環境に慣れること。単語をもっと覚えること。

#### 6. この ENP4 でもっとも良かった点は

- ・ 自分の英語に対する態度、勉強方法を客観的にみることができたこと。
- ・ 少人数だったので分からないところは聞くなどして理解してから次に進めること。医療に関する単語や言い方あんどを知ることができたこと。
- ・ 実際に英語を話す患者さんが日本に来たときの instructions や body part's name がよかった。海外に行かない人でも（日本で働いていても）ありうる situation だから。
- ・ 英語を身近に感じることができるようになった。テレビや映画など副音声で聞くことが多くなった。
- ・ 英語だけの会話だったので聴く力がついたと思うところ。考える所もあり、自分で想像していく力もついたところもあり、良かった。
- ・ 今後、現場で使えるような英語の勉強ができたこと。英語しか話せない環境を作ることで、自分も頑張らねば、と思えたこと。

#### 7. この ENP4 で改善すべき点は（建設的な意見を）

- ・ 特にない。基本的な医療現場での英語、玉田先生の英語の勉強に取り組む姿勢を学べたことはとても良かった。
- ・ 何かテーマを決めて、次の授業の最初にそれに対しての自分の考えを少し言ったりする機会があればと思った。
- ・ もっと私たちに話す機会を与えてほしかった。それぞれ平等に。先生よりも生徒が多く話せるように。
- ・ もっと長い期間やりたかった。

#### 8. e-learning の感想（受講者のみ）

- ・ 初めて e-learning のようなシステムを知り、驚きました。英語を学ぶ時に、様々な勉強方法がありますが、様々な要素（リスニング、穴埋め、等）が組み込まれており、効果的に勉強ができるのではないかと思います。実際やってみると、小テストで自分の成績が出たり、様々な工夫があり良かったです。
- ・ パソコンのネット上で色々な練習問題ができるので、自分で勉強していくのにはいいなと思った。ただ、自分の家にネットをひいていないので、家でできないので、あまりしませんでした。
- ・ 面白い内容で、いつでもどこでも出来るところが良い。ただ、間違えて（second listening で）また最初から解き直して、解答をメールしないともらえないのは大変だと思った。一度解いた答えで合っていたところは残って、間違えた部分のみ、次解く時には空欄になっているほうが、何度も解ける。
- ・ 自分の好きな時間にネットを通しておもしろい教材で学ぶことができ、楽しく英語を学ぶことができているなと思った。
- ・ リスニングの内容も興味を抱きやすいもので、パソコンを使うという新しい学習方法も楽しく、続けて行いたいと思う。
- ・ 自分のペースで何度も学習できるのはいいなと思った。

## 4 附属病院看護部 ENP

- ① 参加者（教員）による授業報告と感想
- ② 資料
- ③ アンケート結果



### ① 参加者（教員）による授業報告と感想

週日の 5:00 から、10 回の授業を行ないました。

希望者 52 名のうち、今回の第 2 回目は 12 名を対象に、「英語を話す患者さんとのコミュニケーション」をはかるために、持ち寄った患者との実際の会話例の翻訳や用語などを交えながら、簡単なやりとりの練習などを実施しました。

A グループでは、南部みゆきさんが 4 回、横山さんが 2 回、ホワイトさんが 2 回、安浪さんが 2 回、B グループでは、南部みゆきさんが 4 回、玉田が 2 回、ゲストさんが 2 回、安浪さんが 2 回を担当しました。

**参加者：**A グループ：岩切ひとみ、浦邊穂波、小出あずさ、後藤光代、下西美羽、松山裕佳、  
B グループ：中村晶、濱砂馨、福留麻希、堀内真由美、松下和美、宮原朋子（12 名）

今年は初めての試みでもありましたし、時間も担当者の人的な力も限られていますし、試行錯誤の状態で行いましたので。不備な点や徹底出来なかった点も多かったと思います。しかし、先ずは何もない中から、英語しか伝達手段を持たない患者さんの手助けとなる看護師にとの願いで、このプログラムを開始出来たことを最大の成果と考えたいと思います。

今後、プログラムを充実させて継続してゆくことの方が大切です。いっしょにやっていきましょう。

担当者の確保やプログラムの充実のための予算措置も働きかけて実現したいと思いますので、ご協力をお願いします。

英語を敬遠するのではなく、自然に英語を手段として使えるようになるといいですね。むしろ、楽しんで言葉を使えるようになることを願っています。

### 10月10日(火)

5時から1時間ほど、リーダーをやって下さる堀内真由美さんと金曜日から始まる授業の打ち合わせをしました。他の人と相談をしてクラス分けをすることや、これだけは授業で取り上げてほしいことがあれば連絡をすることなどを確認しました。(玉)

### 10月12日(金) 5:00~6:00

- A グループ 岩切ひとみ、浦邊穂波、小出あずさ、後藤光代、下西美羽、松山裕佳、  
B グループ 中村晶、濱砂馨、福留麻希、堀内真由美、松下和美、宮原朋子

### 10月13日

Group A: Azusa Koide

Thank you for the first lesson. I felt tense in the first English class. And I got confused about communication only with English. But I could feel relaxed with Mrs. Nambu's smile and partners. Firstly we introduced ourselves to each other. We introduced each other and learned new English words. And it's good for us to learn medical terms. I'm looking forward to the second lesson.

Group B: Akira Nakamura

普段、英会話ができればなあ、、と、切迫した状態で、または ふとした状態で感じる人が多い現状。

持続しない学習と身につかない会話力にめげることが多く、この機会に英語の世界に耳を慣れさせ、思考回路や口をついて出る言葉が日本語以外になるといいなあ、、とわくわくした気持ちをもてた時間でした。

It was showering in English. How long have I been ?It was the first class of us. The class name is N-ENP of the second round!!

### 10月20日

Group A: Yuka Matsuyama

Thank you for the second English class and I'm sorry that I couldn't join the first class. We began by introducing each other again. Then, we learned many subjective symptoms and situational conversations between the nurse and the outpatient. I was very nervous, but I enjoyed talking in English.

I'm looking forward to the next English class.

Group B: Kazumi Matsushita

今回は旅の話から、看護でよくある場面を英語で会話して行くと言った内容でした。会話は目と目を見て行かなければならないのですが、つい紙を見てしまっていました。日本語も話さないようにと気を付けてはいるのですがまだまだです。でも1回目に比べて少しですが、会話を聞き取れているような気がします。(本当に少しですが…) 英語が苦痛だったあの頃に比べて楽しく英語を学んでいる今が嬉しく思います。研修の後の先生とチーム皆との話も楽しくてためになりました。

### 10月26, 27日 (E-learning 講習会)

Group B: Maki Fukudome

I took part in the ENP learning course of Prof. Yasunami. He said, "This course is for learning, not for teaching. That's important." So I must learn not passively but positively. I can use his ENP learning system, whenever and wherever. And I can use it repeatedly. I want to try this system many times, so that I may speak in and listen to English with confidence. I am looking forward to the next lesson.

### 11月10日

**Group A: Honami Urabe**

この回は入院時の自己紹介とオリエンテーションについて学びました。検温の際の排尿排便回数聞き方も教えてもらいました。私個人としては、現在検温をする機会はないのですが、病棟勤務で困った記憶があり、実用的な会話で興味深かったです。南部さんの話されることは、なんとなくわかるのですが、わからないことについてその場で聞きたいと思いながらも・・・英語でということなのでなかなか言葉が出なくて口だけがパクパクしてしまいます。聞くと簡単な単語が、自分の口からすぐには出てこないのが情けないです。でも研修は賑やかに楽しい時間で、最後まで頑張れそうです。

**Group B: Kaoru Hamasuna**

今回は、初めてリック先生にお会いしました。今回は、どの科にも共通するようなベーシックな場面での会話を学びました。自分がいつも行っていること、自然としている声掛けを英語ではどう表現するのか具体的に想像できました。まだ英語 4 回目ですが、個人的には英語のみの患者さんにも以前より恐れず話せるようになったと感じます。まだまだスムーズにはほど遠いのですが・・・。来週は参加できないのが残念ですが、あと何回かの研修を楽しみに頑張りたいと思います。

**11 月 17 日**

**Group A: Hitomi Iwakiri**

We learned how to guide a patient around the hospital. We also learned twelve facilities' names in English. We translated English expressions into Japanese. I couldn't translate "examination room" and "delivery room." We practiced English conversations, too. Then we learned how to express "on your right/left," "on the 4th floor," "A is next to B," "C is across from D." Mrs. Nambu, thank you for the lessons. We enjoyed your lesson. Thank you very much.



**Group B: Mayumi Horiuchi**

Thank you for the 5th English class. This time is Mr. Rick White second class. At first we reviewed the conversation when we were taking temperature [blood pressure, pulse, blood sample, injection, listening to chest] learned last week. I would like to use it right away. Next we learned the name of the parts of the body. I learned it happily by using the card on which a word was written. I thought the history of the adam's apple was interesting. I am looking forward to the weekly English class.

**11 月 24 日**

**Group A: Azusa Koide**

Thank you for the English class. This time is Yokoyama teacher's first class. We took about ourselves bad feeling experience. Bad We couldn't express in English. So, Teacher taught way of expression and way to learn. I want to learn English more. At once I watched the movie which I had borrowed from teacher. This movie moved me. I'm looking forward to the next class.

**Group B: Tomoko Miyahara**

レッスンありがとうございました。今回は、自覚症状を訴える患者さんに診療科を案内する内容でした。

基本形がわかればいろいろと応用できるので楽しみです。先生の歯切れのよい英会話を聞き逃すまいと必死に聞いていましたが、100%完全には理解できません。しかし、前後の内容から推測しています。若い人たちに混ざって今後も頑張りたいと思います。

**12 月 15 日**

**Group A: Maki Fukudome**

Thank you for last lesson. We learned how to ask the patient the intake of each meal. It is important that we know whether the patient have allergic to food or not. When we ask about meals, we should consider the religion and culture. For example, the patient can use chopsticks and eat meat, pork etc. And we should consider the patient is in good or not condition. I am looking forward to your next lesson.

Group B: Kaoru Hamasuna

こんにちは。今回は南部先生の最後の授業でした。授業内容は、排泄についてでした。なかなか全員がそろえることができなかつたり、自分の伝えたいことがうまく言葉にならなかつたりしましたが、初回に比べて授業を重ねるごとに前回覚えたてのフレーズを使ってみたりすることができ、また、相槌のうちかたも学ぶことができ、少しずつ普段日本語でしている会話に近づけている様に感じています。来週は最後ですが、終了しても英語から離れないでいられるようにしようと思います。最後まで楽しみにしています。

### <N-ENP 全体の感想>

#### Group A

Miwa Shimonishi

I didn't like English, but I'm interested in English now. I learned English in this class.

Honami Urabe

Thank you for the lesson. It was twenty years since I had English class last. The first ENP made me feel strained because English words which I wanted to mean didn't come out of my mouth. I was not able to be positive to have English conversation. Although I was working as a head nurse in the ward, I felt embarrassed because I cannot speak English. Now I want to lean English more so that I can use it at work. It was a trial after long time I studied English, but the I had fun in the class. I will keep studying.

Yuka Matsuyama

I'll miss this English class. When the first class was held, I was not able to join it. May teachers taught us a lot of things. If I see foreigners in this hospital, I hope to speak to them in English. We've had a very good time.

Hitomi Iwakiri

English is very difficult for me. I stayed away from English. But I could participate in this class. I was glad when I tried to communicate in English. I want to make use of English at work. I want to keep studying English. Thank you for the class, teachers.

Azusa Koide

Thank you for the English lesson. I haven't learned English since I had left school. And I feel tense with English lessons. But I felt relaxed because other members were there. As I leaned medical terms, I talked to a patient in English for the first time. I want to learn more.

#### Group B

Maki Fukudome

At first I felt uneasy about English lessons because I had to speak only in English. I was poor at speaking English. But I gradually got used to speaking in English, and looked forward the next lesson. I could learn not only medical expressions but also everyday expressions. Through the lessons, I learned that I must not speak with special terms but with common words when I have conversations with patients. I also learned that I must consider patients' cultures and religions. I could get a lot of knowledge through this lesson. It is important for me to speak in English with confidence and learn it repeatedly.

Akiko Miyahara

I'm sorry I can't attend today's last English lesson. Today is a year-end-party of otorhinolaryngology. I only knew a few English words before the lesson had started, so I found it difficult to make myself understood in the class. Now that I studied how to ask to patients in English, I want to study more from now on. I am so grateful to you for giving me the chance to study English. Thank you again.





Kaoru Hamasuna

Until I joined the class, I was not confident about my English ability. I didn't like to meet patients who don't speak Japanese. I wanted to know how their true feelings, but I didn't know how to tell my questions and my feelings in English.

In this class, at first, I studied some typical conversations. I felt relaxed and time passed so fast. At last, we became able to make our original English by imagining our daily conversation at work. I enjoyed this class, it gave me an opportunity to speak English. Now, I love English and patients who don't speak Japanese. I want to help patients, especially pregnant women, their babies, and their families. Thank you all teachers, and all class members.

Mayumi Horiuchi

I could enjoy studying N-ENP for three months, and I think this class was practical. I would like to use what I learned by all means. I feel English is much more familiar than before. On the other hand, I am worried that I may forget what I learned if I don't use them. I would like to start seeing English TV programs and continue learning English. Thank you very much for your guidance.

## ② 資料

### (1) <直前に配布した資料です>

\*\*\*\*\*

10月3日(火) 第2回目の予定を組みました。

N\_ENP

A

- ① 10/13 (Fri) 5:00~6:00 N
- ② 10/20 (Fri) 5:00~6:00 N
- ③ 10/26 (Thu) or 10/27 (Fri) 5:00~6:00 Yasunami / Y: E-learning (Combined)
- ④ 11/10 (Fri) 5:00~6:00 N
- ⑤ 11/17 (Fri) 5:00~6:00 N
- ⑥ 11/24 (Fri) 5:00~6:00 Y
- ⑦ 12/1 (Fri) 5:00~6:00 Y
- ⑧ 12/8 (Fri) 5:00~6:00 G
- ⑨ 12/15 (Fri) 5:00~6:00 G
- ⑩ 12/22 (Fri) 5:00~6:00 G / W Including Questionnaire (Combined)

B

- ① 10/13 (Fri) 5:00~6:00 T
- ② 11/20 (Fri) 5:00~6:00 T
- ④ 11/10 (Fri) 5:00~6:00 W
- ④ 11/17 (Fri) 5:00~6:00 W
- ⑤ 11/24 (Fri) 5:00~6:00 N
- ⑥ 12/1 (Fri) 5:00~6:00 N
- ⑦ 12/8 (Fri) 5:00~6:00 N
- ⑧ 12/15 (Fri) 5:00~6:00 N

\*\*\*\*\*

### (2) <初日に配布した資料です>

2006 年度後期 附属病院看護部 **ENP** (第2回目)



#### <資料と連絡先>

- ★ ホームページ
- ★ CD-R



★ 英語科教員の連絡先

授業で使っているホームページ「ノアと三太」のなかに看護部 ENP の専用ページを作っています。利用して下さると嬉しいです。

- ★ 「ノアと三太」：<http://tamada.med.miyazaki-u.ac.jp/tamada/>→授業→ENP  
アクセス制限がかけてあります。ユーザー名：nenp パスワード：8811

ページには、「ノアと三太」でも辿り着けます。

「英語科」<http://tamada.med.miyazaki-u.ac.jp/>  
[N ENP - 看護部 ENP \(English for Nursing Purposes - the Department of Nursing\)](#) は  
附属病院看護部 ENP に関するページです。

- ★ CD-R：Hospital, Appendices, Section 1 の音声ファイルが入っています。  
＊ Hospital from University Hospital HP of the Faculty of medicine, University of Miyazaki  
＊ Medical Terminology: Appendices (医学の専門分野の名称), section 1 (医学用語の基本構造)  
医学用語用のプリント 2 枚もあります。練習問題の答えは参考ファイルに置きます。

\*\*\*\*\*

★ 英語科教員の連絡先

玉田吉行 [yokoyama@med.miyazaki-u.ac.jp](mailto:yokoyama@med.miyazaki-u.ac.jp) ☎ 85-3595 (親子電話です) 内線 2183  
横山彰三 [yokoyama@med.miyazaki-u.ac.jp](mailto:yokoyama@med.miyazaki-u.ac.jp) ☎ 85-3595 (親子電話です) 内線 2182  
Michael GUEST [michael@med.miyazaki-u.ac.jp](mailto:michael@med.miyazaki-u.ac.jp) ☎ 85-0998 内線 2181  
Richard WHITE [rwhite@med.miyazaki-u.ac.jp](mailto:rwhite@med.miyazaki-u.ac.jp) ☎ 85- 内線  
南部みゆき [nambu@miyazaki-catv.ne.jp](mailto:nambu@miyazaki-catv.ne.jp)

\*\*\*\*\*

(3) <直前に配布した e-learning 講習会についての資料です>

\*\*\*\*\*

**看護学科 ENP・教職員、病院看護部 ENP のための  
ENP e-learning 講習会**

日時：2006 年 10 月 26 日 (木) 5:00～6:00、27 日 (金) 5:00～6:00 のどちらか  
場所：総合教育研究棟 2 階情報処理演習室 (看護学科の棟です)  
対象：看護学科 ENP・教職員、病院看護部 ENP  
120 名までは受講可能ですので、希望される方は下記に問い合わせ下さい。  
英語科 内線 2183 (玉田)、内線 2182 (横山)

2006 年度学長裁量の教育戦略経費で e-learning の専門家をお呼びする計画を立てました。特に、看護部 ENP を希望しながらまだ受講できない人にも是非機会を提供できればと考えました。継続的に自分で英語の学習が続けていけるきっかけになれば幸いです。

**「ENP e-learning コース」の概要**

このコースは宮崎大学医学部 ENP プロジェクトのためのものです。インターネットに接続できる PC

であれば、いつでもどこからでもこのコースにアクセスすることができます。この教材を活用して、皆さんの英語リスニング力の向上を図ります。教材は、VOA(Voice of America)で放送された健康や医療に関するニュースから作られています。実際に非英語話者対象に放送されている生の教材です。日本人学習者のために考えられた語彙、大意把握、内容把握、イディオム確認、英語表現の練習問題があり、自学自習により学習を進めることができます。

#### 講師紹介

安浪誠祐 (やすなみせいすけ)

熊本大学大学院文学研究科英文学専攻修士課程修了(文学修士)。高校教諭、熊本電波高専助教授、熊本大学文学部助教授を経て、2003年同大大学教育機能開発総合研究センター助教授(現職)。2006年同大大学院社会文化科学研究科教授システム学専攻兼任(現職)。研究分野はCALL、ESP(特別な目的のための英語教育)など。現在は学部の英語教育と全国初のeラーニングシステムを用いた大学院で「外国語教育におけるeラーニング」を担当されています。



### ③ アンケート結果 (2006/12/22 実施)

#### N-ENP(2006, 10-12 学期)評価項目

##### 1. 玉田・南部・横山のセッションを振り返って

###### 1) もっとも難しかった点

- ・ 特にありません。色々なシチュエーションでどのようなことを話せばいいのかよく分かり、ほかのメンバーと例文を応用して会話することが出来て楽しかったです。
- ・ 自分の意見を英語で伝えること。
- ・ レッソンの最初の回がすべて英語で分からない部分が多かったが、皆と一緒に笑えたことは少し理解出来たことの現れだと思う。
- ・ 話したい言葉があっても単語がわからず言葉が出てこなかった(自分の中で)
- ・ 自分の意見を伝えられないところ。内容は難しくなかった。
- ・ 英語で自分の意見を述べる点
- ・ 自分の思っていることを英語で伝えること。単語力がないため難しかった。
- ・ 伝えたい言葉の英単語・前置詞が、言われると分かるが、すぐに出てこない。
- ・ 横山先生の一番はじめの自己紹介の時のスピードが速くて圧倒された。怖じけずいて、何も話せなくなってしまった。
- ・ 自分の言いたいことが英語でうまく表せない。

###### 2) 何が問題なのか

- ・ なし
- ・ 能力、知識、経験がないこと。
- ・ しかし、回が進むにつれて少なくなってきたと思う(言葉が出てこないことが)
- ・ 自分の単語、文法の知識が乏しい。
- ・ 知っている英単語が少なすぎる。(2名)
- ・ 単語力だと思う。
- ・ 中1程度の英単語でも基礎知識として復習して参加すべきだった。
- ・ もっとゆっくり話して欲しい。

##### 2. ゲスト・ホワイトのセッションを振り返って

### 1) もっとも難しかった点

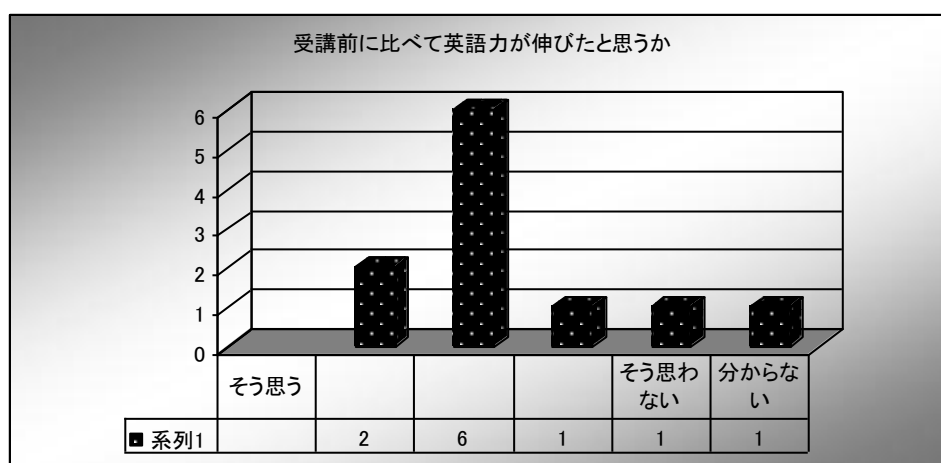
- ・ 特にありません。ゆっくりわかりやすく話してくださったので聞き取りやすかったです。またイラストを使った授業で楽しく学べました。
- ・ ゲーム感覚で楽しくレッスンできた。
- ・ 特にありません。(2名)
- ・ 特に難しいとは思わなかった。
- ・ 単語の意味
- ・ 英語で自分の意見を述べる点
- ・ 思っている英語が、自分の考えのとおり伝わっていないこと
- ・ 伝えたい言葉の英単語・前置詞が、言われると分かるが、すぐに出てこない。

### 2) 何が問題なのか

- ・ なし (3名)
- ・ 単語の乏しさだと思う。
- ・ 知っている英単語が少ない。
- ・ 病院で使用するもので、初めて知る言葉ばかりで難しいと感じた。

## 3. N-ENP の受講前・受講後の英語力について

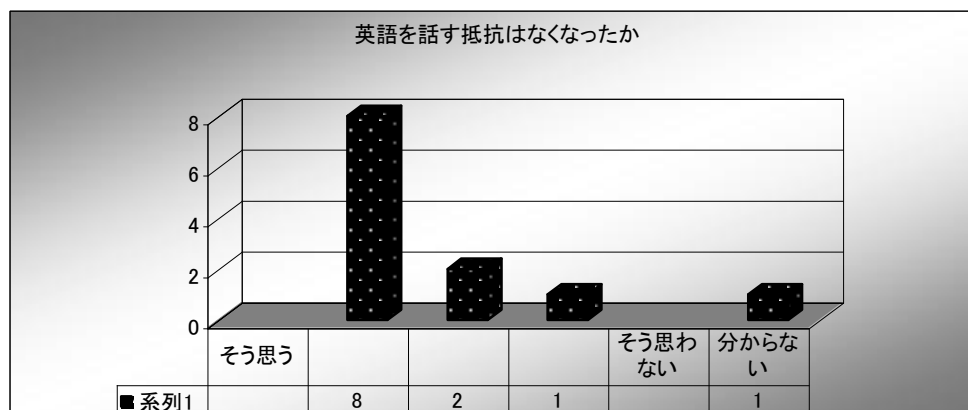
### 1) 受講前に比べて英語力が伸びたと思うか



### それはどの程度か、またはなぜか (全員記述)

- ・ クラスの中で、英語のみを使うシステム・決まりになっていたのも、少ないながらも、持てる語彙力を引き出そう、組み合わせようとする時間が持てたこと。
- ・ 活用する場面がまだ分からないから。
- ・ ヒアリングが特に以前と比べて聞き取れるようになった。
- ・ 積み重ねが出来ていないし、実践する場がない。
- ・ 何を言っているのかは理解できるようになった。
- ・ 伸びたかどうかは分からないが、N-ENPに参加することで、医療用の単語を何とか覚えることが出来たし、質問の仕方もわかった。
- ・ 看護師として、最低限の患者との会話が出来るようになった。
- ・ 会話で分からない単語はあるが、おおよその意味を把握しやすくなった。
- ・ 言語の知識は少し増えたという程度であるが、どう使えばよいのか、というのが少し理解できた。病棟、外来における基本的な文型を教えて頂いたので応用できると思う。
- ・ 授業を通して、知らなかった単語や忘れていた単語、実際病院で使用できる会話について学ぶことができました。

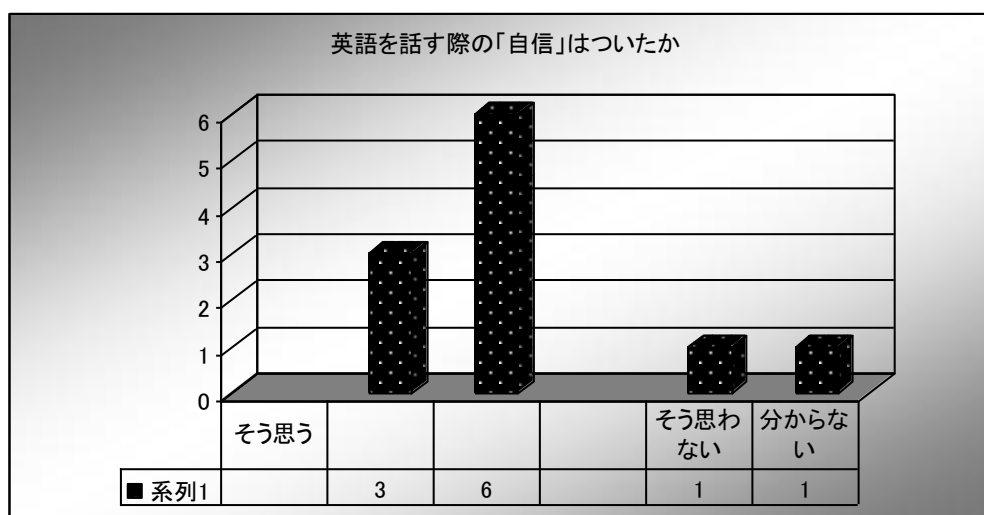
## 2) 受講前に比べて英語を話すことに対して抵抗はなくなったか



### それはどの程度か、またはなぜか (全員記述)

- ・ 話す内容、質問したい内容のフレーズが学べた。
- ・ 活用する場面がない。
- ・ 自分が話したいと思えば英語力がなくても話せると思ったから。
- ・ 少なくとも外国人を見て逃げようようなことは無いと思うが、実際に使用する場がないので明確ではない。しかし何とか話してみようかという気にはなった。
- ・ 自分の分かる単語で伝えれば良いと思えるようになった。回数を重ねるうちに抵抗はなくなった。
- ・ 1時間英語ばかりだと、自然に英語を使えるようになった。まだまだ分からないことは多いが、わからないことはわからない、と伝えられるようになった。病院内でよく使う会話も学習できたので学んだことは活用できると思う。
- ・ 外国人の患者さんに対して逃げなくなった。やってみよう、と思えた。
- ・ 言いたいことの英単語を知らないため、つい消極的になってしまう。
- ・ 学校を卒業してから英語に触れる機会がほとんど無かったが、今回、英語研修に参加して少しずつ、1時間ほぼ英語という状況が苦でなくなりました。

## 3) 受講前に比べて英語を話す際の「自信」はついたか



### それはどの程度か、またはなぜか (全員記述)

- ・ 話したいこと、質問したいことのフレーズを学び、また英単語を学び応用が出来そうだから。
- ・ 活用する場面がまだないから。
- ・ 相手にどう伝えようかと悩むときはあったが周りのみんなや先生方の助けにより伝えることが出

来たので少し自信がついた。

- ・ 加齢とともに記憶力も低下し、普段使っていない分、忘れやすい。
- ・ 伝えようという気持ちがあれば、ネイティブな英語でなくても伝わると思った。
- ・ 1 回目のときと比べると、E-ENP に参加したことで少しは自信がついたと思う。
- ・ 実際に英語を使って会話することで、自分の言い方、文法が通じることもあり自信となった。
- ・ このような場面でこのような会話をすればよい、というものがいくつかあるので、以前より自信というか安心感のようなものが持てました。
- ・ 自信はないが、相手にゆっくり聞いてもらえれば話していくと思う。
- ・ やって見たら伝わるため、自信は少し付いたと思う。伝わる方法はたくさんあると思った。あいづちなど、自分の感情を伝える方法が少し分かってきた。
- ・ まだまだ言いたいことが伝えられないから。

#### 4) 自分の抱える問題点

- ・ 病院での会話は少しわかったが、日常会話などでは単語が出てこなくて考えてしまう。才能がない。
- ・ 患者さんに伝えるだけでなく、安心させる、または丁寧である言い方が出来ない。思ったことをまず言葉にするため文章がバラバラになってしまう。(自分で話しながら組み立ててしまう)
- ・ 英語に関して自信が無いため、消極的になりがちである。
- ・ 英語を話す場面にあつたら自信がないので一歩ひいてしまうところがあったので、自信を持って積極的に英語を話していきたいと思います。
- ・ 基礎 (文法、単語)
- ・ 知っている単語が少ない。自分の思っていることを英語にすることが難しい。
- ・ 単語力がないため自分の思いを伝えられない。
- ・ 問題意識が低い。必要に迫られていない。以前いた病棟では困っていたが、今はひっ迫していない。
- ・ 継続していく力。まだまだ勉強したいと思うし、日常でも英語を断続していけるとよい。
- ・ 単語、動詞を知らな過ぎる。
- ・ 継続力不足、hearing 力、語い力、読解力不足

#### 5) 今後の中・長期的な目標

- ・ 日々の業務の中で使用している会話を学習したこと (特に南部先生やホワイト先生から学んだ質問や指示?) などの英会話を参考に英訳してみる。それをまとめる。E-Learning を引き続けて行い、hearing 力・語い力がつければなあ・・と目標にしています。
- ・ 日常会話ができるようになること。
- ・ ビデオでも英語で見られるようにしたい。(好きなビデオ 1 本でも) また、海外に行って英語で会話して旅をしたい。
- ・ 今回の授業を振り返り、自分の部署で必要な英語を考えてスタッフと勉強してみたい。
- ・ 中学生以降の英会話は新鮮だったので仕事の余裕を見つけて、また英会話を始めてみたい。
- ・ 1 日 10 分でも毎日英語に触れることが上達のカギと言われていたので、なるべく毎日英語に触れていきたい。
- ・ 英語で日常生活のやりとりがスムーズにできるようになりたい。
- ・ とにかく慣れることが大切だと思うので、E-Learning や DVD を英語で見たりしていきたいです。できれば英会話にも通いたいです。そして機会があれば (病院の患者さんや海外旅行先などで) 積極的に外国の方に英語で話しかけていきたいと思います。
- ・ レッスンで頂いた資料を整理し、いつでも使えるようにしておきたい。
- ・ 英語を使う患者さんに分娩・妊娠・産褥に関してまずスムーズに丁寧に伝えられるようにする。個人的に、英語から離れないように日常のどこかで取り入れ、積極的にチャンスに飛び込みたい。
- ・ おおよそヒアリングが出来て、自分の気持ちは伝えたい。文章も文法などもう一度振り返りたい。



## 6) この N-ENP でもっとも良かった点は

- ・ 英語を再び学習できる（学生卒業以来）機会、きっかけになった。  
具体的に使える英語が身についた。病院以外に目をむけることが出来た。他、病棟の様々な経験者と会話することが出来た。楽しかった。
- ・ レッスンの中で、疑問・質問などその場で教えていただきわかりやすかった。
- ・ すぐにでも実際に使用出来るような例文を教えてもらえたことです。それをふまえて他のメンバーと会話していくことで色々なバリエーションを学ぶことが出来ました。
- ・ 直接英語を話し、聞くことができたこと。
- ・ 英語を話す機会はほとんどなかったが、参加したことで質問の仕方や知らない単語が学べた。英語が上達するコツを教えていただいた。
- ・ 英会話に 1 時間でもふれることで、ヒアリングの力はついたと思う。
- ・ アットホームな雰囲気で少人数であったこと。
- ・ メンバーと先生と出会えて、英語で会話を楽しめたこと。少人数なので恥ずかしがらずに出来た。日々の業務の中で使用するであろう・遭遇するであろう単語や場面が想定され、応用方法をロールプレイングでき、自信になった。日程が毎週と定期的であったこと。語彙の成り立ちから単語・簡単な（基本的な）フレーズ、業務の中で使用する一般的なフレーズと、段階的に学習できたことが、スムーズに英会話を学ぶ機会になった。

## 7) この E-ENP で改善すべき点は（建設的な意見を）

- ・ 講義の内容ではありませんが、例えば、このアンケートについてもそうですが、1 週間前に（次週の予定について、次週の準備について、前回の講義の終了時にでも）連絡いただけると助かります。
- ・ 特にない。(3 名)
- ・ 英語教育を受けてから、かなりの年月が経過していることを加味して欲しい。目で見ないと理解しにくいことが多かったのでホワイトボードやプリントをもっと活用したほうが良い。また、個々の目的は違うと思うのでそれに応じたグループ分けが必要だと思います。実際、現場で働いている者としては、即実践で使えるようなものを期待したいと思います。
- ・ 楽しい時間になっているので、今の雰囲気でもいいと思います。
- ・ 勤務が終わるのが（日勤の場合）「16:45 だが、どうしても 16:45 ぴったりにとは終わらず、10 分、15 分、と遅刻してしまい、実際学べるのは 50 分、45 分だったりのため、17:15 とかもう少し遅く始めていただくか、時間を 1 時間よりもう少し長めにさせていただくと有り難いです。
- ・ 先生毎に内容が変わるので、習ったことがその場限りになってしまう。仕事でなかなか自主学習をすることができないので、前回の復習する時間を少しでも作ってくれれば、きっと身についたのではないかと思います。
- ・ 日勤終了後に参加することが多いので、17:30 頃からの開始だと助かります。
- ・ もう少し早く開始メンバーの伝達を行ってくれれば全ての回に参加できた。金曜日は病棟がものすごく忙しく、同病棟から 4 人英語に仕事を終了させていくのは出来なくはいが、少しづらかった。同様に ENP 参加を行っている学生さんとの交流や、より専門的に学習できる機会があれば、是非参加したいので、今後も（終了者も）参加できるような機会があると良いな、と思います。

## 8) e-learning の感想（受講者のみ）

- ・ 看護部はインターネットの登録そのものがよくわからない者が多く、ご迷惑をおかけしたと思います。
- ・ いつでも何回でも出来る、というところがとても良いと思います。繰り返し活用していきたいと思います。
- ・ 「思わず時間を忘れて英語を勉強していた」という感じの方法で、英語を学びたいけれど、実践につながられていなかった私にとって、うれしい情報でした。

- E-Learning は自宅でも出来るようになってきている。自分の勉強にはとてもなると思う。
- 時間が短い感じがした。
- あまり意味がないと思った。楽しくなかった。先生と話してる方がすごく楽しかった。
- 耳を慣らす、単語の正しい綴りを学べる、**hearing** をして理解するのはまだ無理ですが、文章を見ながら（まだ読めませんので）何となく読解しているような気分になりました。まだ何となくですが、フレーズを学んでるような気分でもあります。私には難しいですが、ゆっくり取り組んでいます。そのうちに、**hearing** 出来るようになれば・・・と楽しみにしています。



## V 編集後記

3冊目のEMP 報告書です。

いちいち書き留めて置くのは面倒臭い作業ですが、今後の展開のためにも必要だと考えて作成しています。

今回は、少し編集作業にも慣れて、個人の感想に医学科、看護学科の学生の写真を貼り付けられたのは、横山さんの個人的な趣味のお陰です。

医学科のEMPでセッションを担当してくれた澤口助教授は、16年前に一年生の英語の授業に学生として教室に座っていました。16年振りに、まさかこんな形になるとは感慨無量です、と言ってもらいました。これも何かの縁というものでしょうか。

ソクラ大の人とは、研究者、レジデント、学生の交流がますます活発になって、大きなネットワークを作っていければと考えています。やがては広がりを見せて、アーバインとも、その他の国の人とも交流が深まれば、嬉しい限りです。

今年も、教育戦略経費でお世話になりました。ファイザルさんもビーチャイさんもお呼び出来ましたし、南部さんにも授業や報告書作成に参加してもらえました。何より、学生のために有効に使えたと思います。

通常の授業も担当した上でのEMPですのでかなりの負担ではありますが、多くの協力があって出来るのだと思います。英語分野の横山さん、ゲストさん、ホワイ特さん、協力をお願いした鮫島助教授、澤口助教授、南部さんはもちろんのこと、河南学部長、池ノ上教授、丸山教授をはじめ、協力して下さった方々に、改めて深く感謝申し上げます。

たま

## VI 附録 実施後評価用のアンケートのフォーマット

### ① EMP（4・5年生 H19年2月期）実施後評価

今後の EMP プログラムの改善に役立てますので以下の質問に正直に答えて下さい。

6. 何年生か          4 年          5 年

7. ゲスト・ホワイト担当のフォローアップセッションについて

1) このセッションはあなたにとってどれくらい有益でしたか。5 段階で評価して下さい。

有益でない   0   1   2   3   4   5   とても有益であった

2) このセッションで最も有益だった点を思いつくままに書いて下さい。

3) このセッションで改善すべき点を思いつくままに書いて下さい。

4) 以下の項目についてあなた自身について該当する箇所に○印を付けて下さい。

	大変満足	満足	あまり満足していない	満足していない	わからない
あなたの目標達成度					
セッションのインプット量					
セッションのインプットレベル					
セッションへの参加度					
資料類(映像を含む)					
期間(時間)の長さ					
使用教室					
設備類					

「あまり満足していない」「満足していない」とした項目についてその理由を書いて下さい。

8. Dr Vichai セッションについて

1) このセッションはあなたにとってどれくらい有益でしたか。5 段階で評価して下さい。

有益でない   0   1   2   3   4   5   とても有益であった

2) このセッションで最も有益だった点を思いつくままに書いて下さい。

3) このセッションで改善すべき点を思いつくままに書いて下さい。

4) 以下の項目についてあなた自身について該当する箇所に○印を付けて下さい。

	大変満足	満足	あまり満足していない	満足していない	わからない
あなたの目標達成度					
セッションのインプット量					
セッションのインプットレベル					
セッションへの参加度					
資料類(映像を含む)					
期間(時間)の長さ					
使用教室					
設備類					

「あまり満足していない」「満足していない」とした項目についてその理由を書いて下さい。

#### 9. Dr Waffarn セッションについて

1) このセッションはあなたにとってどれくらい有益でしたか。5段階で評価して下さい。

有益でない 0 1 2 3 4 5 とても有益であった

2) このセッションで最も有益だった点を思いつくままに書いて下さい。

3) このセッションで改善すべき点を思いつくままに書いて下さい。

4) 以下の項目についてあなた自身について該当する箇所に○印を付けて下さい。

	大変満足	満足	あまり満足していない	満足していない	わからない
あなたの目標達成度					
セッションのインプット量					
セッションのインプットレベル					
セッションへの参加度					
資料類(映像を含む)					
期間(時間)の長さ					
使用教室					
設備類					

「あまり満足していない」「満足していない」とした項目についてその理由を書いて下さい。

#### 10. 全体的な観点から

1) このプログラム全体を通して5段階で評価して下さい。

有益でない 0 1 2 3 4 5 とても有益であった

2) プログラム全体を通して最も良かった部分(とその理由)は何でしたか。

3) プログラム全体を通して改善すべき部分(とその理由)があれば書いてください。

4) プログラムの実施期間(時間)についてどう思いますか。

＜実 施 期 間＞ 長い ちょうど良い 短い

＜1 回の実施時間＞ 長い ちょうど良い 短い

5) このプログラムは年何回実施するのが適当だと思いますか。

1 回 2 回 3 回

6) このプログラムで得られた成果は何ですか。

7) 自分にもっとも欠けているものは何でしたか。

8) あなた自身が英語力を伸ばすために、今後半年間での目標設定があれば書いてください。

9) その他気づいたことがあれば何でも結構ですので書いて下さい。

## ② EMP2007（2月期）Student 'Can-do' feedback

あなた自身について評価してください（１～５の評価スケールで）。なお、欠席などで評価不能の場合は０（ゼロ）をつけること。  
（裏面にも答えること）

0 –Not relevant（評価不能）    1. Very much（全くそう思う）    2. Considerably（かなりそう思う）    3. A little（まあそう思う）  
4. Very little（あまりそう思わない）    5. Not at all（全くそう思わない）

Dr. Waffarn session # 1 (Feb.21)	In this session, I improved my understanding of :	a) Medical terminology	0	1	2	3	4	5
		b) Doctor-Patient Interactions	0	1	2	3	4	5
		c) The method of taking a history for chest pain	0	1	2	3	4	5
		d) Clinical English	0	1	2	3	4	5
		e) The method of physically examining a chest pain patient	0	1	2	3	4	5
		f) Stylistic and cultural differences from Japan	0	1	2	3	4	5
Dr. Waffarn session # 2 (Feb.21)	In this session, I improved my understanding of :	a) Medical terminology	0	1	2	3	4	5
		b) Doctor-Patient Interactions	0	1	2	3	4	5
		c) The method of taking a history for a pregnant patient	0	1	2	3	4	5
		d) Clinical English	0	1	2	3	4	5
		e) The method of physically examining a pregnant patient	0	1	2	3	4	5
		f) Stylistic and cultural differences from Japan	0	1	2	3	4	5



Dr. Waffarn session # 3 (NICU) (Feb.23)	In this session, I improved my understanding of :	a) Medical terminology	0	1	2	3	4	5
		b) Measuring Gestational Age	0	1	2	3	4	5
		c) Filling in the Ballard Chart	0	1	2	3	4	5
		d) Stylistic and cultural differences from Japan	0	1	2	3	4	5
Dr. Vichai (all three sessions combined)	In these sessions, I improved my understanding of :	a) Medical terminology	0	1	2	3	4	5
		b) Clinical English	0	1	2	3	4	5
		c) How to make a diagnosis	0	1	2	3	4	5
		d) How to read medical data	0	1	2	3	4	5
		e) How to analyze/interpret medical data	0	1	2	3	4	5
		f) Details of dengue fever	0	1	2	3	4	5
		g) Details of thalassaemias	0	1	2	3	4	5
		h) Details of Platelet Dysfunction	0	1	2	3	4	5
ALL sessions	I improved :	a) My English listening skills	0	1	2	3	4	5
		b) My skills in self expression	0	1	2	3	4	5
		c) My skills in reading medical papers, reports, and questionnaires	0	1	2	3	4	5